

# 時空の幕

フォニックス アリゾナ州 アメリカ合衆国

1955年03月02日

1 こんにちは、皆さん。今夜、フェニックスでこの集会に参加できることを心から感謝しています。しかし、これが最終の夜であることを思うと、少し寂しさも感じます。だからこそ、今夜こそ神が最大の祝福を私たちに与えてくださるようにと願っています——この場所を後にする時、病んでいる人が一人もおらず、苦しんでいる人が誰も残されていないように。

今、担架や簡易ベッド、椅子におられる皆さん——私のために、ひとつお願いがあります。どうか、今夜、心のすべてを尽くして信じてください。私は、あなた方お一人お一人が今夜、元気に歩いてお帰りになるのを見たいのです。

主はあなたを愛しておられます、皆さん。ただ、あなたの病が「治らない」と思えるのは、サタンがそうささやいているだけなのです。主にとってあなたを癒すことは、誰か他の人を癒すことと何ら変わりはありません。だからこそ、今夜、心の底から信じてください。頭ではなく、神の御言葉に従ってください。私はそれが真実だと知っています。

もしそれが絶対的な真実でなければ、私は決して皆さんにそんなことは申しません。私は知っているのです——これは間違いなく、神の真理なのです。

2 さて、まず最初に感謝を申し上げたいのは——そうですね、ムーア兄弟でしょうか。本来こうしたことはマネージャーがするものですが、今夜は私自身の口から、この機会を借りて、皆さんお一人おひとりに心からの感謝をお伝えしたいと思います。

今回のフェニックスでの集会は、これまでこの地で開いた中で、最も霊的で落ち着いた、祝福された集会だったと私は信じています——皆さんのおかげです。

この集会のために共に働いてくださった、協力教会の先生方、牧師の皆さんに深く感謝いたします。また、スポンサーとなってくださった方々にも感謝いたします。中には、ちょうど自教会のリバイバルや他の働きと重なって、スポンサーにはなれなかった方々もおられました。でも、私たちは決して「すべての教会が閉まらなければならないような」大規模な集会を目指しているわけではありません。

中には大きなテントを持っておられる兄弟方もいて、「すべての教会を閉じなければ人々が来られない」と言う方もおられます。でも、私はこれまで自分の集会をそのような形で行ったことはありません。私は、できるだけシンプルに、小さく、そしてできる最善を尽くして主に仕えるのです。

今回、足を運んでくださった皆さん、心から感謝します。そして、たとえ来られなかったとしても、私は同じように感謝しています。

そのようなやり方をしているので、私たちの必要経費は抑えられています。予算も多くはありません。ですから、人々に大きな負担をかけることもありません。ただ普通の献金を集め、それで必要をまかなう。それだけのことです。そして、予算が満たされれば、それで終わりです。

3 それから今夜、私への愛の献金が捧げられたと聞きました。本当に感謝しています。できることなら受け取らずにすめばよいのですが、正直なところ、大きな責任を背負っておりますので、どうしても必要なのです。どのようなものか、皆さんもご想像いただけたらと思います。

私のオフィスは常に稼働しており、たとえ私がどこにいても——たとえ奉仕の現場にいなくても——ジェファーソンビルズのオフィスだけで、毎日およそ100ドルの出費があります。ですから時には、かなりの赤字を抱えることもあるのです。

それでも私たちは、祈りのハンカチ(祈祷布)をたくさん送り出しています。今ここにあるようなものです。世界中へ送っています。多い日には、1日に千枚もの祈りの布を送ったこともあります。

皆さん——どうか遠慮なさらず、いつでも助けが必要であれば、お手紙をください。私は「お手紙ください」と言って住所を集めるつもりはまったくありません。というのも、私はラジオ番組のスポンサーもなく、宣伝のための働きも一切していません。ただ、あなたのために祈るために、あなたを助けるためだけに、それをしてほしいのです。

祈りの布をお送りすることも、あなたのために祈ることも、喜んでさせていただきます。

4　そして今、あらためて皆さんお一人おひとりに、心からの感謝を申し上げます——この集会へのご協力、ご出席、そして今夜の愛の献金に至るまで、すべてに感謝いたします。

今夜いただいた献金も、私たちのささやかな生活に必要な分以外は、すべて大切に用いさせていただきます。私たちは、他の多くの人々と同じように、質素な暮らしをしています。それが信じがたいという方もおられるかもしれませんが——なぜなら、私は他の多くの伝道者よりも長い間この働きをしています、それでも私には財産というものがほとんどありません。

それは、持っているわずかなものを、私は外国宣教のために費やしているからです。——友人たちのために、そして主のために。神がこのことの証人であられるのです(ご覧の通り)、私が手にするすべてのものは……

財政の面においては、私たちは人々と同じようにごく普通の生活をし、そして残ったわずかな資金を少しずつ積み上げて、海外に行けるだけの費用を確保するのです。そして、私たちは海外に赴き、福音を聞いたことのない人々にキリストの救いを宣べ伝え、何千、何万、何万という魂を主のもとへと導くのです。

そして、資金が尽きれば、私たちはアメリカに戻ってきます。友人たちのもとを訪ねながら助けをいただき、また少しずつ資金を積み上げて——準備が整えば、再び出発するのです。

5　私は知っています——私には本当にたくさんの友がいます。今夜この会場にも、こうしてくれる友が座っておられます。「はい、ブラナム兄弟、あなたが海外に行けるように小切手を書きますよ」と。けれど、それでは他の皆さんに対して公平ではありません。分かりますよね？

私たち一人ひとりが、その働きに少しずつ関わりたいと思っているのです。それが正しい在り方です。ある人は10セント、15セント、25セント——どんな額であっても、それは御国への分かち合いなのです。そして、そのような方法で支えられるならこそ、「これは主が私を遣わしてくださっているのだ」と、私は確信できるのです。

おそらく、次に皆さんにお会いする前に、私は再び海外の宣教旅行へ出かけることになるでしょう。すでに計画されているのは、アフリカ全域、タンガニーカ、ローデシア、そして再びインドへと向かうものです。

ですから、どうか、私たちのためにお祈りください——この道のりのすべてにおいて、主の導きがありますように。

6　今日、ある友人に会いました。その方は「名前は壇上で言わないでください」とおっしゃいましたので、ここでは申しませんが——もし今夜ご臨席であれば、私たちがどれほどその方に感謝しているか、きっとお分かりいただけると思います。私は、その方を、そして皆さんを、心から愛しております。

そして、何人かの方々が私が狩りを好むことをご存じで、いろいろな野生の動物のお肉を届けてくださいました。私が滞在していた場所に、二人、三人の方がシカやエルク(ヘラジカ)、さらにはバッファローやハベリナ(イノシシの一種)まで運んでくださいました。まるでごちそうの連続で、ほんとうに素晴らしい時間を過ごしました。

初めていただいたものもいくつかありましたが、本当に美味しかったです。主があなたを祝福してくださいますように。私がそれをどれほど喜んでいたら——きっとご存じなかったでしょうね。心から感謝いたします。ハベリナやバッファローは、私にとって生まれて初めてでしたが、本当に美味しかったです。そしてエルクやシカも格別でした。

私はそういうものが大好きなんです——何がそうさせるのか自分でも分かりませんが、でも好きなんです。森や自然、野外の世界が大好きです。そして、それに付随するものも大好きです。ですから、皆さんのご親切に、心の底から感謝しております。

7　そして今、皆さんがここまで信仰をもって支えてくださったこと——本当に素晴らしいことでした。皆さんの信仰が一つになって、この集会は本当に恵みに満ちたものとなりました。

ですが、正直に申し上げて、この集会は私にとって少し負担の大きいものでした。皆さん、これは私の集会史上初めての試みでした——自分で説教をし、自分で招きを行い、人々をキリストのもとへ導き、さらに病人のために祈るというすべてを一人で行うことは。

この数日間、私はほとんど倒れるほど疲れ切っていました。なぜなら、これは私が参加する唯一の集会ではないからです。

このまま真っすぐカリフォルニアに向けて出発できますように、すでに荷物のほとんどは準備が整っています。そしてカリフォルニアでの奉仕の後、すぐに戻って——次はジョージア州メイコン、そしてその次はコロラド州へ。そこからまた次の地へと続いていきます。

こうして続く旅路は、確かに体に堪えるものがあります。

8 さて——ある時から、私の集会の中で最も大きな喜びのひとつになったことがあります。特に最近ではそうです。これまで私は、招き(祭壇の呼び出し/オルターコール)をマネージャーや他の方に任せることが多かったのですが……自分自身でそれを行ってみて、人々が立ち上がり、主イエスを個人的な救い主として受け入れるその光景を見ること——それが私にどれほどの喜びを与えるか、言葉では言い尽くせません。

私は本当にそれを幸せに思っています。

ここで、牧師の皆さん、スポンサーの方々——この働きに近く関わってくださっている方々に、ぜひご理解いただきたいことがあります。それは、もし主が導いてくださるなら、私はまたフェニックスに戻ってきて、ただ福音だけを真っすぐに宣べ伝える——そういう集会をしたいということです。人々を御前に導き、祭壇に招き、手を置いて聖霊を受けるよう祈る——そうした集会です。

今、私が行っている識別(ディサーンメント)や幻を見るという働き——それこそが、私を非常に消耗させるのです。

9 もし私たちがまた戻ってきて、あのような集会——たとえばただ福音を語り、祈りをささげるような集会を開いたとしたら……皆さん、来てくださいますか?——来たいと思いますか?——ああ、主が皆さんを祝福してくださいますように。ありがとうございます。

病人のためにも、もちろん祈ります。ただし、識別(ディサーンメント)によるものではなく、より長く滞在できるような形で——何晩かだけでなく、もっと長く腰を据えて奉仕できるような集会です。そのような形で、皆さんとより深く交わることができたらと願っています。本当にありがとうございます。

今、私は海外に出発する前に、全米を巡回しています。そのなかで各地で、こうして皆さんにお聞きしています。

たとえば、ロサンゼルスでのクリスチャン・ビジネスマンの集会では、最初の五晩はただ福音を宣べ伝え、病人に手を置いて祈る——列を作って一人ひとりに祈っていくという形式です。すべての方に手を置いて祈るのです。

10 さて、このような祈りの列を作って一人ひとりに手を置いて祈るという方法——それは私本来の奉仕のスタイルとは少し異なりますが、けれど多くの人々がそのように教えられており、またその形で信じておられるので、しばらくの間そのやり方に従うのも良いと思っています。

ただし、識別の賜物(ビジョン)が働き出すと、それは自分でコントロールできるものではありません。一度始まると止まらなくなり、それだけで集会が終わってしまうこともあります。ですから、そのふたつを混ぜて行うことは、なかなか難しいのです。

今夜、そのビジョンがどのように起こるのか、どうしてそうなるのか——それを皆さんに説明できたらよいのですが、正直なところ、私にも完全には分からないのです。それは、皆さんにとっても私にとっても、依然として神秘的に満ちたものなのです。

さて、これですべてお話できたかと思います。あと一つ、感謝を申し上げたいのは——この会場をお貸しくださったシュライナー(Shriner)の兄弟団体、そして会場の管理人の方々、案内係の皆さんです。

もし今夜、その方々がこの場におられなかったとしても——どうか、どなたかお伝えください——私たちが心からの感謝を捧げているということ。今回で、この会場をお借りするのは二度目となります。本当に感謝しております。

主が、すべての関係者の方々の上に豊かな祝福を与えてくださいますように。

11 そして、祈りの列を整えるために親切に助けてくださった案内係(アツシャー)の皆さんにも、心から感謝を申し上げます。特に、ピリーと一緒に毎晩来てくれていた小さな案内係の少年——本当に素晴らしい子です。今夜、彼と握手をすることができました。控え室から壇上に出るとき、皆がご存じのとおり、私たちは話をしません。祈りを終えて壇上に出るまで、静かに整えられているのです。彼の助けに、心から感謝しています。

そしてもちろん、他の兄弟たちにも感謝します。バラード兄弟、そしてこの後ろに座っておられる素晴らしい兄弟たち——フォーク兄弟、フラー兄弟——ああ、数えきれないほどです。顔ははっきり覚えていても、時に名前がすぐに出てこないことがあります。でも皆さん、本当に素晴らしい方々です。

たしか、その中のお一人——フラー兄弟だったと思いますが——この集会の直後にリバイバルを始められると聞きました。そうですね、明日の夜から始まるのですね？ しっかりお知らせしておきたいと思いません。

こちらにおられるフラー兄弟——教会は……フラー・タバナクルでしたか？——いえ、「フェイス・テンプル(信仰の宮)」ですね。すでにここで案内がされているかもしれませんが、改めてお伝えします。

12 私たちは、どんな時でも、どこであつてもリバイバルの告知があるなら、よろこんでお知らせいたします。ですから、皆さん、どうか急いで、ぜひそのリバイバルに参加してください。そして、そのまま主に仕えていきましよう。

どうか、ご自分の心の中の“家の灯”を消してしまわないように——これらのリバイバルの中で、霊の火を絶やさずに歩み続けてください。

ああ、主イエスが今日も生きておられることを知るのは、なんと素晴らしいことでしょう！ 私たちの心の中に、生き、そして支配しておられるのです。

さて今夜は、あまり長くお時間を取らないようにしたいと思います。御言葉を少しだけ語らせていただき、その後すぐに病の方々のための祈りの列に入っていきたいと願っています。

実は、事前の案内では「おそらく招き(祭壇の呼び出し/オルターコール)だけになるかもしれない」とお伝えしていました。でも今は、「すべてを主に委ねよう」と、そう感じています。終わりの時が来るまで、主が何をなさろうとしておられるか、ただ見守るだけです。

時に、主は私たちをぎりぎりの瞬間まで導かれ、そしてその時になって初めて「なにをすべきか」を教えてくださいることができます。

——けれど、だからこそ私たちは主を愛するのです、そうでしょうか？

13 主が皆さんを祝福してくださいますように。そして——どうか、私のためにも祈ってください。私のためにも祈ってくださると約束してくださる方、どれくらいおられますか？——ああ、主があなたを祝福してくださいますように。本当に……おお、なんと多くの手が挙がっています……。

この子どもたちの姿——皆さんと握手を交わすことを思うと……今夜、この通路を通って、皆さん一人ひとりと握手したい気持ちでいっぱいです。

正直なところを言えば——私は皆さん一人ひとりのお宅に今夜お邪魔して、一晩泊まって、夜遅くまで語り合い、そして朝になってまたお話したいくらいなんです。それほどに、私は人々と心を分かち合うことを願っているのです。

けれど、この奉仕の性質上、私はある意味“孤独”を選ばなければならない立場にあります。——というのも、今のような集会を行うためには、どうしても人と交わる時間を制限しなければならないのです。だからできないだけで——でも、神はご存じです。私が皆さんをどれほど愛しているかを。

ですから、私は皆さん一人ひとりに“約束”をしたいと思います。もし、神が私をそこに行かせてくださるのなら——栄光の御国で、あなたに再びお会いできたときには、私はあなたと一緒に腰を下ろして——1,000年でも語り合いたいのです。

その時は——まるで語り始めたばかりかのように、時間は尽きることなく、ずっと語り続けることができるでしょう。すべてを分かち合いましよう。——それはなんと素晴らしいことでしょうか。

14 そして、その時には——私たちは、偉大な聖徒たちによる賛美でもてなされるでしょう。サンキーも、ビバリー・シェイも、みんな、あの丘の上で神への賛美を歌っているのです。私たちは、いのちの木のほとりに座り、御座の下から流れ出る水のそばで、主とともにいるのです。

——なんと素晴らしい光景でしょう！私はその日が待ち遠しくてたまりません。

キリストにしっかりと錨を下ろしているクリスチャンにとっては、この地上の古びた幕屋(肉体)が取り去られても、すぐさま別の幕屋へと移されるのです。——すぐそこに、新しい住まいがあるのです。これが、なんと驚くべき恵みでしょうか。

考えてみてください——病み、疲れ果て、打ちのめされ、心は砕かれ、何もかもがうまくいかない……世界は混乱に満ちている……そんな時、私たちは思わず叫びます、「主よ、来たりませ」。

すると、気づけば、この古びた、震える体がだんだんと崩れ始め、痛みが全身を走り、冷たい死の感覚が袖口から忍び寄ってくる——でもその時、ふと目を上げてみると、あちらに立っているのです。——まったく新しい身体が、すぐそこに。

ただこの体から出て、そのまま新しい体へと——移り住むのです。

15 「たといこの地上の幕屋が壊れても、私たちにはすでに備えられた住まいがある」——そうです、ただそこに移るだけなのです。人の手によらず、神ご自身が造り、永遠の栄光を帯びた、新しい住まいが。

そこに入るとき、私たちは新しくされ、若返り、二度と病に悩まされることもありません——ああ、なんと希望でしょう！

そう考えると……死など、クリスチャンにとって何の力も持っていませんよね？

死は、クリスチャンを創り主の御前へと導くための通過点にすぎないのです。

主をそのように思い巡らすとき、私たちの心はなんと慰められることでしょうか。——そうではありませんか？

死はクリスチャンを捕らえることはできません。ただ主の御腕の中へ、ずっと引き上げられるのです。

さて、その時に私たちが受ける「体」がどんなものか——つまり、この体を最終的に再び受け取る前に与えられる体が、どのようなものか——それはまだ人には明らかにされていません。

でも私たちは知っています。ただの霊として漂うわけではないということ。霊はこの地上の幕屋(肉体)を離れ、神が備えてくださった新たな住まいへと入るのです。

それは単なる霊ではありません——それは「体」なのです。アーメン。形があり、姿があり、秩序があり、すべてが備えられている。ああ、なんと素晴らしいことでしょうか！

——楽しみですね、そうではありませんか？

16 さて、それでは御言葉から少しだけ読ませていただきます。なぜなら、主の御言葉は決して滅びることがないからです。私の言葉は、またどんな人間の言葉であっても、やがては過ぎ去ります。しかし主の御言葉は、永遠に変わることがありません。

今夜は、ルカの福音書を読みしたいと思います。これまで旧約聖書のことばかり語ってまいりましたので、少し方向を変えて、新約聖書から御言葉をいただきます。

私はいつも「型」の教え(タイポロジー)に目を留める者ですので、どうしても旧約に遡って、新約の成就をより深く理解しようとするのです。影が見えていれば——本体が来たときにそれが何であるか、だいたい分かるものですから。

それでは、新約聖書——ルカによる福音書24章30節からお読みします。説教の出発点として、これらの節に目を留めましょう。

30節 彼が彼らと共に食事の席につかれたとき、パンを取り、祝福して、裂いて、彼らに渡された。

31節　すると、彼らの目が開かれて、イエスだとわかったが、その姿は彼らの前から見えなくなった。

32節　彼らは互いに言った、「道々お話したださったとき、また、聖書を解き明かして下さったとき、私たちの心は内に燃えていたではないか」。

——アーメン！

17　それでは今、よみがえられた主イエス様にお願ひしましょう。どうか今夜も、私たちのために御言葉を聞いてくださいますように——私たちがこうして座し、静かに主を待ち望む中で。

それでは、お祈りいたしましょう——頭を垂れて。

愛する救い主よ、

今夜、私たちは心を開いてあなたの御前にまいりました。私たち自身にできる限りの誠実な思いをもって、あなたのもとに来ております。

主よ、私たちの最も深いところに、確かな確信が与えられています——

それは、あなたこそが生ける神の御子、私たちの罪のために死に、私たちが罪から引き離し、死者の中からよみがえり、いま高きところの御座の右に座しておられ、そして再び聖霊を遣わして下さった、ということです。

私たちは、御言葉に続くしるしとともに、聖霊が証しをなして下さっていることを感謝いたします。

また、この素晴らしい集会を感謝します。

ただあなたの恵みによってのみ、私たちはこの交わりにあずかることができました。

御言葉を囲んで、また神の御霊を囲んで——私たちは本当に豊かな交わりを持つことができました。私たちはそれぞれ異なる教団・教派に属していたとしても、キリスト・イエスにあつて共に天の御座に座している者として、心を御言葉に開き、御霊を歓迎し、受け入れました。

どうか今、主よ、私たちに霊の糧を与えてください。

何百人もの方々が、あなたを救い主として受け入れました。主よ、そのことを心から感謝いたします。

また、病める者、足の不自由な者、車椅子に座っていた方々、寝台に横たわっていた方々が癒され、立ち上がって歩いて帰られました。目の見えない方、耳の聞こえない方、言葉を発せなかった方、あらゆる病——それらが癒されました。

そしてあなた、神なるお方が、この民のただ中に来てくださり、人々の信仰があなたの御手を動かし、超自然の御言葉が語られ、それぞれの人生のこと——彼らが何をしてきたのか、何をすべきなのか、これから何が起こるのか——を啓示して下さいました。

【※このあと録音に空白があるため、文が途切れています】

……それでも、あなたは変わらず、真実なお方です。

アーメン。

18　神——それは神ご自身の一部でした。神は初めから終わりを見通しておられ、その中から「ロゴス」、すなわち御言葉なるキリストが地上に来られたのです。それは、語られた神の言葉——神の一部であり、肉となって、私たちの間に住まわれました。

そして今度は、私たちがキリストから出てきた——それゆえ、神にあつたいのちがキリストにあり、そして今それが、あなたのうちにあるのです。

だからこそ、神がこの方(キリスト)をよみがえらせたことが確かであるなら——もし同じ御霊が私たちのうちにあるなら、私たちも同じように、よみがえらなければならないのです。それは、私たちのうちにある神の御霊によって、私たちが神の子とされているからです。

ああ、これがなんと驚くべき真理でしょうか!

では、どうやってそのいのちを受けるのか?——それは「主イエス・キリストを信じること」によってです。ただそれだけです。信じて受け入れること。そしてその信仰に応えて、神は私たちに聖霊を与えてくださいます。その御霊が私たちのうちに叫ぶのです——「アバ、父よ。私の神、私の神」と。

そうして、終わりの日に、私たちはよみがえらされ、携え上げられるのです。

主はこう言われました——

「その日には、あなたがたは知るようになる。わたしが父のうちにおり、父がわたしのうちにおられ、わたしがあなたがたのうちにおり、あなたがたがわたしのうちにおることを。」(ヨハネ14:20)

——アーメン!

19 神から出た御霊——それがロゴスとして現され、この地に下り、肉となり、私たちの間に住まわれました。そして罪の罰を身に負い、死なれ、よみがえり、今や高きところにおられる——神の右の座に着いておられます。

そして、同じ御霊が今度は聖霊として戻って来られ、今や個々の信じる者たちのうちに住まわれ、創り主との関係を回復させてくださっているのです。

——なんと驚くべき恵みでしょうか!

それなのに……原子爆弾がどうだとか、また戦争が起こりそうだとか——今日の新聞をご覧になりましたか?まるでまた戦が始まりそうな情勢です。銃をあちこちに向け始めています。

けれど、そんなことが本物の信者にとって何の意味があるのでしょうか?——アーメン!

神は、今もなお手綱を握っておられます。アーメン!

ですから、私たちがこの地上から旅立つ時が来たとしても——たとえどのような方法であっても——死でさえ、何であれ、神から私たちを引き離すことはできません。

私たちは「永遠のいのち」をいただいているのです。もはや裁きに定められることはありません——なぜなら、キリストご自身がそう約束してくださったからです。

「わたしの言葉を聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきにあうことなく、死からいのちに移っている」(ヨハネ5:24)

——アーメン!

20 さて今夜の本文の始まり——エルサレムにおいて、それは実に驚くべき三年半の期間でした。人々はまさにリバイバルのただ中におり、胸を高鳴らせて待ち望んでいたのです。けれど、その中心におられたお方——主イエス——は、この世と宗教界から拒まれた方でした。

当時の人々からは、「狂信者」とみなされていました。もし今日の言葉で言い換えるなら、「聖霊に熱心すぎる人(ホーリーローラー)」などと呼ばれていたことでしょう。なぜなら、主イエスは彼らの神学とはまったく一致していなかったからです。

しかし——神はその方と共におられることを、しるしと不思議で明らかにされたのです!

ペテロが使徒の働き2章でこう語っています。

「イスラエルの人々よ、このことを知っておくべきでした。このナザレのイエスこそ、神があなたがたの間で、しるしと奇跡と不思議によって証された方です。あなたがたもそのことの証人です。なのに、あなたがたは不法な者の手によって、いのちの君を十字架につけてしまった。だが、神はこの方を死からよみがえらせ、私たちはその証人なのです。」

そうです——神はその方こそ、ご自身の愛する御子であることを、しるしと不思議をもって証明されたのです。

その御業を通して、神がイエスと共におられたことを、はっきりと示されたのです。アーメン！

21 皆さんに、特にこの後ろにおられる奉仕者の兄弟たちに、お尋ねしたいことがあります。

過去2,000年の教会の歴史を振り返ってみてください——教会がリバイバルを経験したとき、いつでもそこには「しるし」と「不思議」が伴っていたのではないのでしょうか？ はい、そのとおりです。

超自然なる神が、ご自身の民のうちに住まれ、その現れを通して人々に希望のビジョンを与えられたのです。

——では、私たちは何を頼りに希望を抱けるのでしょうか？

もしも、この地上を超えた何か「超自然的なもの」が確かに存在することを知らなければ、私たちに何の望みがあるのでしょうか？

すべての人は、「時間の幕の向こう」を見ようとしています。

私たちはどこから来たのか——そして、どこへ行くのか——それを知ろうとしています。だからこそ、人はほんの少しでもいいから「永遠」の幕の先を覗きたいと願うのです。

モーセもそうでした。彼もまた、それを見たいと願いました。そして神は、彼にそれを見せてくださいました。

同じように、私たちも見ることができのです——復活のキリストを通して！

その方こそ、「時空の幕」を見せてくださるお方。

そしてその方が今も生きておられ、私たちのうちにおられるのです。アーメン！。

22 さて当時——主イエスを信じて従った人々は、正統派のユダヤ教、つまりサンヘドリン体制の枠組みから出てきた者たちでした。彼らは、その宗教的連携を断ち切って、主イエスに従ったのです。

世間の人々は、どれほどイエスの名を汚そうとしたのでしょうか。「あの人は正当な子ではない」「身元がはっきりしない」——そんなふうに、暗く染め上げようとしてきました。

けれど、彼らは分かっていたのです——神がこの方のうちにおられることを。

主はこう言われました：

「わたしの羊はわたしの声を聞き分ける」(ヨハネ10:27)

つまり彼らのうちには“霊”があったのです。

彼らは心の奥底で、それを感じ取っていたのです。

そして彼らが主を見たとき——そこにいたのは、当時の祭司や律法学者たちとはまったく違うお方であることが、すぐに分かりました。だからこそ、彼らはどこまでも主について行ったのです。

彼らは主を愛していました。けれど、完全には理解できなかった。弟子たちにとってさえも、主イエスは「謎」に満ちたお方でした。

なぜなら、いつも“二人の声”がそこにあつたからです——

人としてのイエス、そして

父なる神の御霊がそのうちに語っておられた声です。

それが、主イエスというお方なのです。神と人がひとつとなって歩んでおられた——だからこそ、彼は誰にも完全に理解されなかったのです。

23 主イエス・キリスト——そのお方のうちでは、「人としてのイエス」が語っていると同時に、「父なる神」もまた、そのうちにあつて語っておられたのです。

時にはイエスご自身が語っておられ、

そして時には、彼のうちに住まわれる父なる神が語っておられたのです。

お分かりになりますか？——だからこそ弟子たちは、主が語るある言葉を理解できなかった。彼は時に「謎」に満ちた表現で語られました。

ある日、イエスが弟子たちにこう言われました：

「わたしは神から出て、世に来た。そして、また神のもとへ帰っていく。」(ヨハネ16:28)

すると弟子たちはついに言いました：

「ああ、今はっきりと語っておられます。これで私たちは、あなたがすべてをご存じであり、人から何か教えらるる必要がないことが分かりました。このことによって、私たちはあなたが神から来られた方であると信じています。」

彼らは、イエスが「神から出て来られた方」であることを、ようやく悟ったのです。

——これは、主が十字架にかかる直前、ヨハネの福音書の中——15章か17章あたりだったと思います(おそらく16章ですね)。

主は、人の姿を取っておられながら、そのうちには完全に神がおられた。だからこそ、神のすべてをご存じで、人から何かを学ぶ必要はなかったのです。

弟子たちがそのことを理解したとき、彼らはこう言いました——

「私たちは今、あなたを信じます。」

アーメン！

24 さて——注目していただきたいのは、弟子たちが主イエスを愛し、信じていたのは、単にお言葉だけではなく、その語られた御言葉が実際に行われる業によって神が共におられることを見たからなのです。

主が語られることが、しるしと奇跡によって確かめられた。だからこそ彼らは信じたのです。

人は何でも語るができます——それだけなら、ただの人の言葉です。

でも、神ご自身が現れて「それは真理である」と証されたとき——それが確認されたなら、あなたはそれを信じるべきなのです。なぜなら、神がそう語られたのだからです。

主イエスは、たびたびこう言われました：

「わたしがしているわざは、わたし自身のものではない。わたしのうちにおられる父が、それらのわざをなさっているのだ。

わたしは、自分からは何も行わず、父が見せてくださることだけを行っている。」

そして弟子たちは気づいたのです——

主が「父から見せられた」と語られることは、すべてそのとおりに成就した。

それがまさに真理であることを。

神が主イエスのうちにおられ、語られ、行われていた——

それはただの理論ではなく、目の前で起こった現実だったのです。アーメン！

25 主イエスは、群衆の中に立ち、彼らが心の中で何を考えているかを知っておられました。そしてこう言われたのです：

「なぜ、あなたがたはそのことを心の中で思い巡らしているのか？」

主は、人々の心の中のことを見抜かれました。

そして人々は、それが神から出たものであると悟ったのです。

主が行われたすべてのこと——それは、御父が示されたとおりにされたことであり、主が語られたことはすべて真実であると分かったのです。

このことは、ユダヤ人にとって明確な“しるし”でした。

モーセの律法にこうあります：

「あなたがたの中に、霊的な者、または預言者がいるなら、わたし【主】は幻によって彼に現れ、夢によって彼に語る。

その預言者が語ったことが実際に成就するなら、その者の声を聞きなさい。わたしが彼と共にいるからだ。

しかし、もし成就しないなら、その者はわたしが遣わしたのではない。肉によって語っただけで、わたしは彼と共におらず、語ったこともない。」

——つまり、「語ったことが成るかどうかがしるしだったのです。

そして彼らは見たのです——神ご自身が、まさにキリストを通してご自身を現しておられることを。

それこそが、聖書が語っていることです：

「神は、キリストにあって、ご自身と世界とを和解させておられた」(Ⅱコリント5:19)

——アーメン！

神は、キリストのうちにおられたのです。

そして、今も私たちと共におられます。

26 さて、ここで思い出していただきたいのは——それまで人々が大いに喜び、希望に満ちて従っていたあの偉大で素晴らしいお方に、まさかの失望の時が訪れた、ということです。

あの方——死者に語りかけると、その者がよみがえった。

もちろんすべての死者ではありません。聖書に記されているのは三人です。

けれどその三人がよみがえったのは、「三つは証し」となるからです。

聖書は言います：

「二人か三人の証人の口によって、すべての言葉は確立される」(Ⅱコリント13:1)

そして主はいつも言われました：

「わたしがしているわざは、父がわたしに示してくださったものである。わたしがしているのではない。父がしておられるのだ。」

でも、そのような死者をもよみがえらせる方が——ご自身は死ぬことになるなんて。

しかも、ただの死ではありません。病気になって静かに亡くなるのではなく、嘲笑され、辱めを受けての死です。

あの——人々の心を見抜き、彼らが何をしているかを語られたお方が、

目隠しをされ、棒で打たれ、こう言われたのです：

「お前が預言者なら、誰が打ったか当ててみろ。そしたら信じてやるよ。」

彼らは主の髭を引き抜き、その顔につばを吐きかけました。

神の聖なるお方が？ 本当に？ そんなことがあるのか？

弟子たちも思ったでしょう——

「なぜ、何かしてくださらないのか？」

でも、もし主がその場で“何かしていた”なら——

今夜、私たちは救われるすべを持たなかったでしょう。

主はご自身を救うことはできた。

けれどそうすれば、他の者を救うことはできなかった。

だからこそ、主は何もなさらなかったのです。

私たちのために、ご自身を完全に捧げられたのです。

——アーメン。

27 ですから、主イエスはその賜物や力を見せびらかすようなことは決してなさいませんでした。

人々は主の頭を打ちながらこう言いました：

「さあ、誰が打ったか当ててみる。預言者なんだろう？」

そして主が十字架にかけられたとき——

かつて嵐の海を静め、他人を救ったそのお方が——

今やご自身は高熱にうなされ、血を流しながら苦しんでおられました。

そのとき、ユダヤ人たちはこう叫びました：

「今こそ奇跡を見せてみろ！

お前が神の子なら、十字架から降りてみろ。

そうすれば信じてやる！」

——見てください、この批判的な霊を。

神がこのような仕方でお許しになったのは、

知恵ある者や賢い者たちを欺き、へりくだる幼子たちに啓示するためなのです。

主は言われました：

「父よ、天と地の主よ、あなたをほめたたえます。

これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、

幼子のような者に現してくださいました。」(マタイ11:25)

あなたが神に教えられたいと願うなら、

まずは自分の知っているすべてを一度忘れ、

心をへりくだらせて神の霊に自分を明け渡さなければなりません。

そのときこそ、神があなたに語り、教え、導いてくださるのです。

——アーメン。

28 神を知ろうとして、

高等教育を受けたり、学位や奨学金を求めたりする必要はありません。

神は、学問によって知るのではなく、信仰によって知ります。

ただ信じるのです。

すると神ご自身が、あなたにご自身を現してくださいます。

——私はこのことが本当に好きです。皆さんも、そう思いませんか？

神はこの救いの道をととてもシンプルで、へりくだったものにしてくださったのです。

そのあまりの謙遜さ、シンプルさゆえに、

賢い人々には理解できないのです。

彼らは、救いをもっと複雑なものにしようとします。

教会の中で、あれをやめろ、これをしろ、あれを守れ、これはだめ、そういう“清めの手順”を山ほど重ねようとします。

でも、救いはそんなものではありません。

ただ信じなさい。受け取りなさい。それで決まりです。

すると、神があなたの心に来てくださり、

あとのことはすべて主が整えてくださいます。

主があなたの心の中に足がかりを得ることさえできれば——

あとの変化は、すべて自然に起こっていくのです。

ああ、私はこの真理が大好きです！

——アーメン！

29 よく考えてみてください。人々は、主イエスをイスラエルを救う王、メシアとして信じていました。

ところがそのお方が、汚れた異邦人たちから顔を打たれ、何も言わずにそれを受け入れるなんて——

どうして、そんなふうにご自身をへりくだらせることがあるのでしょうか？

なぜそのとき、御力をお示しにならなかったのか？

——でも、神には時と方法があるのです。

彼らは主の髭を引き抜き、顔につばを吐き、

「お前が王なら、何かやってみろ！」と侮辱しました。

しかし主はこう言われました：

「わたしが父に願えば、十二軍団の御使いを今すぐにも送ってくださる。だが、わたしの国はこの世のものではない。」

「あなたがたには、これが分からないのだ。」

でも人々は言いました：

「こんな異端者は、排除せよ！」

そして主は十字架にかけられ、殺され、

埋葬され、墓に封じられました。

——これこそ、絶望というものです。

弟子たちや信じて従ってきた人々にとって、

この結果はあまりにも打ち砕かれる出来事でした。

彼らは、自分たちの宗教的組織(教会)から出てきて、

この方こそが真理だと信じてついてきた。

ところが——

今や、その信じてきたすべてが失敗したかのように見えたのです。

そして彼らは——その信仰が敗れたかのように見える中で——

もう一度、古い教会や世界に戻っていかねばならなかったのです。

ああ、すべての希望は失われたように思えた……。

——しかし、それは「ように見えた」だけだったのです。

神は、沈黙の中でも、確かにご自身のご計画を進めておられたのです。

30 まさにその方——人々が「神の預言者」あるいは「メシア」だと信じていたお方——

そのお方が、公衆の面前で徹底的に侮辱され、無力にされ、見捨てられてしまったように思えたのです。

かつて群衆の中におられたときは、

主はさまざまなしるしと奇跡を行われました。

それなのに、裁判の場に立たれたときは、まったく自己弁護をせず、

ただ黙って、彼らの暴力を受け入れておられました。

彼らは主を捕え、柱に縛りつけ、

カト・オ・ナインテイルズ(9本の革紐の先に鉛球が付いた鞭)で背中を打ちすえ、

その鉛が皮膚を裂いて、背を切り裂きました。

——それでも、主は一言も口を開かれなかったのです。

彼らは主を丘の上に引き上げ、

十字架に釘を打ち込んで磔にし、

その十字架を立てて地面に落としたとき、

主の手の肉は裂け、全身が引きちぎられるような痛みに襲われた。

——それでも、主は哀願の叫びすら上げられなかったのです。

それを見た民の心の中では、こう思ったでしょう：

「こんなふう打ちのめされ、人々に踏みにじられるなんて、

どうしてこれが神の御子であるはずがあるだろうか？」

でも、それは聖書を知らなかったがゆえに、

そう思ったのです。

なぜ主がそのようになされたのか、

なぜ何もされなかったのか——

すべては神のご計画であり、預言された通りの成就だったのです。

……さあ、あと少しで、そのことが明らかになります。

アーメン。

31 さて——主が葬られ、すべてが終わったかのように見えたその後、

安息日が過ぎ、週の初めの日(つまり日曜日)がやって来ました。

ペテロは漁網を手に取り、かつての生業へ戻ろうとしていました。

「やっぱり間違ってたのかもしれない……あの人は、ただの熱狂者だったのかもな」

一方、クレオパとその友も言いました：

「さあ、もうエマオに戻ろう。全部終わったんだ。

あれほど確信を持って“神から遣わされた真の御使い、聖なる人”だと信じていたけど……

やっぱり違ってたのかもしれない。

もしかすると、大きな教会の言っていた通りだったのかもしれない——

“あれは思考読み(メンタルテレパシー)だった”とか——

“あれはスピリチュアリスト(霊媒師)だった”とか——」

人間って、すぐそう考えてしまうものです。

「もしかして、あの不思議なしるしや地震も、

本当に霊的な何かではなく、ただの偶然か、異端的な力のせいだったのかもしれない。

祭司たちが言っていた通り、“ベエルゼブルの力”でやってたのかもしれない……

教会が全部正しかったのかもしれない……」

そうして彼らは、友を連れて帰路につきます。

「エマオに戻ろう。大工の仕事でもまた始めよう。

何であれ、また普通の生活に戻るしかないさ……」

心は打ちひしがれ、うつむきながら道を歩いていました。

——しかし彼らは知らなかったのです。

あの朝、復活された主イエスが、すでに人々の間に生きておられたということ。

彼らが絶望の中で帰っていくその道を、

よみがえられた主ご自身が、共に歩いておられたのです。

アーメン。

「目が開かれるその時」——それが、もうすぐ訪れます。

32 兄弟よ、「植物学(botany)」って、ただ花や草木を意味するだけじゃないんです。復活をも意味するん

ですよ、この場合は。アーメン！

春というのは、ちょうどイースターの花が咲き誇り、

すべてが美しくよみがえる時——

自然界のはっきりとした型(type)なのです。

復活は必ず春に訪れる——だからこそ、主の復活も春に起こったのです。

万物がよみがえるこの季節に、

自然の王なる方が、自然の創造主である方が、

その自然と共によみがえられたというのは当然のことではないでしょうか。

——さて、クレオパとその友は、そのことにまだ気づかず、

エマオへと向かって、重い足取りで道を歩いていました。

ああ、私もそのとき、そっと後ろからついて行って、

彼らがどんな会話をしていたのか聞いてみたかった！

あなたもそう思いませんか？

……私は耳を澄ませてこう聞こえてきます。

「なあ、クレオパス、君はどう思う？

正直なところ、がっかりしてるよ。

結局またあの牧師のところへ行って——

『あの方のこと、間違ってたみたいだ』って言わなきゃいけないなんて……

本当に辛いよ。

あれほど信頼していたんだ、あのお方を。」

そう語る彼らの心の重さが伝わってきます。

——でも、このすぐ後に、彼らの目が開かれる瞬間が来るのです。

復活の主が、彼らと共に歩んでおられたことに——

まさに「その瞬間」、彼らは気づくのです。

アーメン！

33 そして、彼らが彼について話している間、彼について話している間に、彼が現れたことに注目してください。それは彼をあなたの周りに連れて行く良い方法です：彼についていつも話さない。アーメン。誰が…次の演劇がテレビで上映されるのか、次の映画が来るのか、誰が大統領に選出されるのかではなく、会話を続けてください。イエスについて話してください。

最近のクリスチャンはキリスト以外のすべてについて話します。外に出て、彼らはいつもたくさんのナンセンスと彼らが話したいことすべてを手に入れましたが、キリストについては決して話しませんでした。彼について話してください。彼について歌ってください。彼を愛さない。昼も夜も彼を心に留めておいてください。

ダビデは彼の指とベッドポストに法律を拘束するだろうと言ったので、彼はいつも彼の前にいるでしょう。それが方法です。あなたの前に彼を記憶、考え、賛美、スピーチに留めておいてください。あなたがするすべてのこと、あなたの前にキリストを保ちなさい。それが彼をあなたの近くに保つ方法です。

34 彼らが彼について話している間、彼は彼らに知られていない場所に現れました。彼を本当に愛した人々の多くは、彼が死からよみがえったことを知りませんでした。そして、それが今夜の言葉の本当の意味ではない場合、私はそれが何であるかわかりません。主イエスを本当に愛する人々の多くは、主イエスがここにいることを理解できません。

彼は今この建物にいます。彼は人々の内外に移動しています：復活した主イエス。人々がそれを見るのはとても難しいです。ほら、あなたはここに沿ってこれらの椅子やベビーベッドなどに座っています。もしそれを見て、心から信じて、彼の言葉を受け入れるなら、あなたは今夜ここから出て行き、完璧で元気な人になるでしょう。そうです、彼は死からよみがえられたからです。

彼らと一緒に歩いていると、彼らは彼を愛していましたが、彼はそれを知りませんでした。彼らは彼がそうであることを知りませんでした。多くの場合、彼はあなたと一緒にいて、たぶん、あなたがちょうど事故を起こそうとしていたときです。何かが起こりました。あなたは何が起こったのか分かりません。何かが起こりました。それが彼でした。医者がやって来て、「赤ちゃん、どうやって生きられるかわかりません」と言ったとき。そしてしばらくすると、赤ちゃんは元気になりました。それがイエスでした。彼はあなたと一緒にです。ああ、なんて素晴らしい。

35 ここに少し前、あった小さな女性が……彼女が私の教会の下に住んでいたのを覚えています。彼女は今、ジェファーソンビルでそうしています。彼女はウェイバリーヒルズの衛生施設にいました、そして彼らは彼女を降ろしました、そして彼らは言いました、「医者は彼女がすぐに死ななければならないと言いました。」彼らは彼女に結核の症例を与えるつもりでした、私は10日、2週間生きると信じています。そして私は彼女に会いにそこへ行きました。

彼らは私を約8年前か10年前、私が初めてフェニックスに来る直前に電話をかけてきました。そして私はそこに行き、女性のために祈っていました。彼女には約5人の小さな子供がいました。そして、私はその夜彼女と一緒に祈っていました、そして私が祈って起きている間、私は色付きの白髪でさえ彼女を見ました。彼女は…髪は暗褐色でした。そして、私は彼女が白髪の色をしているのを見ました。数年後、彼女の子供たちは彼女と握手しながら入って来ました。そして私は言いました、「シスター、『主はこう言われる』。あなたは生きるつもりです。」

彼女は泣き始めた。彼女は、「ブラナム牧師、私の心の中で何かが起こった」と言いました。彼女は言いました。「私は生きるつもりだと感じています。何かが私を満足させ、私は元気になるでしょう。」

私は言いました、「あなたはそうです、それは『主はこう言われる』からです。」

私は戻って、教会で彼らに話しました。私の隣にとっても素敵な友達の男が住んでいて、彼は革製品を作るのが趣味でした。ちなみに、彼は私にこの手帳を作ってくれました、私はそれを10年間持っていました。彼は私が自分で手に入れた鹿の皮で作ったのです。その上に私の幕屋の写真を手に入れました。中には、ここに魚と鹿の頭があります。それで彼は私にその古い手帳を作ってくれました、そして私はそれを長い間その記念として持っていました。

36 完璧な、完全な不信心者、科学者。政府の倉庫で働いていました。彼は神のようなものがあるとは信じていませんでした。「それを信じた人は誰でもクレイジーだ」と言った。彼は言った、「彼らは……」

私は人々がそれをどのように頭に浮かぶことができるかを簡単に理解できます。今朝、この街のビジネスマンのオフィスに立って、何人かの牧師たちと、アフリカのモハメダニズムがどのように広まっているのかについて話しました。ほら、25人のモハメダンから一人のクリスチャンへ、それがプレッシャーなのです、なぜですか？モハメダニズムは一つにまとまっています。彼らはコーランが靈感を受けていると信じています。

37 私たちクリスチャン、まず第一に、私たちはカトリックとプロテスタントに分かれています。カトリック教徒は、「聖書は靈感を受けていますが、カトリック教会は聖書の上にあります」と言います。

プロテスタントは言いました、「まあ、それは私が信じている限り多くのインスピレーションを得ています。残りの部分はインスピレーションを得ていません。」

喧嘩、喧嘩、論争、別れ、ああ、それは哀れなことです。教会がする前に神が私を捕まえてくれてうれしいと確信しています(そうです。はい、先生。)、神が最初に私に教えてくれたのです。なぜなら、私はおそらく不信者だったからです。私は人々が自分たちをクリスチャンや教会などと呼んでいるものを見て、それぞれ

が小さなブナやすべてのものを一方から他方へと引っ張り、信仰を持たずに見苦しく分離したいと思っています。確かに。

38 さて、この男は完全な不信者でした。そして翌日、誰かが私とその女性について言ったというニュースを出しました。私はまだサービスを受けに出かけていませんでした。私はハイラインをパトロールしていて、服がボロボロでした。私は古い自転車に乗って店に食料品を買いに行きました、そして私はその女性が住んでいた場所のちょうど2ブロック下の角を曲がらなければなりません。そして、ここに不信者が通りを歩いて来ます。そして彼は私に話しかけました。

私は「おはようございます」と言いました。

そして彼は「こんにちは、説教者」と言いました。「ちょっと待って、あなたと話したい」と言いました。彼は「あなたは自分を恥じていませんか?」と言いました。

そして私は「何?」と言いました

彼は、「そこにいるかわいそうな死にかけている母親に、彼女は生きるつもりだと言い、そのような誤った希望の下で人々を築き上げていった」と語った。

私は、「まあ、私は偽りの希望の下でそれらを構築したことはありません」と言いました。

彼は「まあ、彼女は死にかけている」と言いました。「彼女の夫は政府で私と一緒に働いています。」と言いました。そして言った、「彼はあなたが昨夜そこに来ると私に言いました、そして...または、前の晩、それはその時でした、そして彼女のために祈りました。そして、あなたでさえ、彼女は元気になり、老婆になるために生きると彼女に言いました。」

私は言いました「そうです 私はそれをしたことはありません。神がそれをされました。」

彼は「ナンセンス」と言います。彼は言いました、「あなたに恥を知れ。あなたはそのようなことの下で人々を築き上げないように十分に紳士であるべきです、そのように間違っています。」

私は「それは間違いではない」と言いました。

彼は「そんなことはしないで」と言いました。振り向いて歩きました。

39 そして、私は、まあ、大丈夫だと思いました。私は続けて食料品を手に入れました、私は戻ってきました。その約2、3日後...彼には素敵な小さな妻が信者でした。そして、私は...私の妻は彼女の本当のことをよく知っていて、彼女は素敵な女性だと言いました。そして彼女はクリスチャン教会に属していました。それで、私が入ってきたとき、妻が私に言った、「アンドリユース夫人は非常に病気だ、ビリー」。「あなたは彼女に会いに行くべきだ」と言った。

私は「大丈夫」と言いました。私は「彼女の夫はその不信者だ」と言いました、「私は楽に歩かなければなりません」と言いました。それで私は言いました、「私は彼のためにキンドリングと石炭を手に入れることができるかどうか彼に尋ねます、そして多分彼は尋ねるでしょう...多分彼女は私に彼女のために祈って欲しいかどうか私に尋ねるでしょう。」

それで私は行き、「どうですか、アンドリユースさん」と言いました。

彼は「こんにちは、説教者」と言いました。

そして私は「あなたが病気の妻をもうけたと聞きました」と言いました。

「はい、私は持っていますが、彼女と一緒に良い医者がいます。」と言いました。

私は言いました「はい アンドリユースさんをお願いしたいのですが、私たちはこの隣人なので、石炭を手に入れたり、食料品店の用事を済ませたりするのを手伝ってもらえれば、私はあなたのためにそれをします。」

「ああ、まあ、どうもありがとう」と言いました。しかし、言いました。「私たちは彼女と一緒に良い医者を手に入れました。すべてが大丈夫です。」彼はその医者がその街に誰であるかを私に話しました。

そして私は「彼は立派な人です」と言いました。私は「彼がとても好きだ」と言いました。

「ええ、私たちは状況を得ました...」と言いました、「彼女は虫垂炎にかかっています。」そして、「それは大丈夫でしょう」と言いました、「彼はそれを凍らせています。大丈夫です。」

そして私は言いました、「ありがとう、アンドリュースさん、私は確かにそう願っています。私があなただけの助けになることができれば; 私は隣に住んでいます。ただ私に電話してください。」ドアを閉めて、後ろに行って、ちょっと気にしないで。さて、翌日、医者に来て言った、「まあ、彼らは彼女を病院に連れて行かなければならないでしょう。彼女はひどく腫れています。」「私たちは彼女を病院に連れて行き、手術しなければなりません」と言いました。

40 それで彼らは彼女を病院に連れて行きました、そして彼らが彼女から血液検査を受けたとき、彼女が虫垂炎を持っていなかったことがわかりました。それで彼らは専門家のためにルイビルに送りました。そして、彼らはそこに専門家を迎えました。専門家は彼女を診察しました、そして彼が診察したとき、彼は言いました。心臓のすぐ近くに血塊があります。それが腫れているのです。」言った、「彼女は去った。それだけです。」

それで、私の妻は翌朝私に言いました。アンドリュースは死ぬだろう、ビリー。「彼女が血塊を持っていると聞いたばかりです。」と言いました。看護師の友人の一人である看護師が電話をして、「彼女は死ぬことを決心している」と言いました。「彼女はすでに無意識です」と言いました。

私は言いました「残念なことに、メダ、それを聞くのは嫌いだ。悪いことだ」と私は言った、「私たちは彼女のためにただ祈るだけです。」それで私たちは祈りました、そして私は続けて働き始めました。

41 そして、それは一種の小雨で、私は畑を通り抜けていました。何かが言い続けました。「振り返って戻ってください。振り返って戻ってください。」

だから私は、まあ、私は振り返って戻ると思いました。それで私は戻って、電話をして、引き返しました…。悪天候だったので、それだけで仕事ができませんでした。主が何かを望んでいることを知っていたからです。それで、あなたが最初に知っていることは、私はそこに座って、古い銃を分解して、それを掃除していました。そして、あなたが最初に知っているのは、家の周りに来て、アンドリュース氏が歩いて来て、彼の帽子が彼の耳を下ろし、ドアをノックしました、そして彼は言いました。ブラナム」と言いました、「説教者のブラナムはここにいますか？」

「はい、アンドリュースさん。入ってみませんか？」それで彼は入って来ます。

私は言いました、「こんにちは、アンドリュースさん。椅子を手に入れなさい。」私は自分の銃に取り組み続けました。

そして彼は「説教者」と言いました。

私は「はい、先生」と言いました。

彼は言いました、「私の妻はかなり病気で。聞いた？」

私は、「はい、彼女が死ぬと聞きました、アンドリュースさん」と言いました。私は「それは残念だ」と言いました。私は言いました、「もちろん、あなたは本当に良い医者をご所に連れてきました。」そして私は「彼女が大丈夫だといいいのですが」と言いました。

彼は続けました....彼は「まあ」と言いました、「私たちは専門家を得ました。分かりましたか？」

私は言いました。「はい、アンドリュースさん、あなたがそうしていることは理解しました。心臓の近くの血塊だと聞いた。」

「はい」と言い、「そうです」と言いました。「私の」と言った、「彼女はひどい状態です。」

私は「はい、確かに悪いです」と言いました。

42 私は思った、あなたはそれを汗ばむ。あなたは私にそれを汗をかかせたので、今あなたはしばらく汗をかきます。だから私は銃を掃除し続けました。彼に汗をかかせてください。だから私は自分の銃を掃除し続

け、そのようにそれを通して見ました。きれいでしたが、少し時間を取ってもらいたかったのです。しかし、私はそのようにそれを見続けました。

そして彼は「説教者」と言いました、「あなたは何を知っていますか？」

私は「なに、アンドリュースさん？」と言いました。

彼は「彼女を少し助けてくれないかしら」と言いました。

そして私は「どういう意味ですか？」と言いました。

彼は「あなたが知っている」と言いました。

私は「つまり、彼女のために祈るのですか？」と言いました。

彼は「はい」と言いました。

私は「あなたはそんなことを信じていないと思った」と言いました。私は言いました、「あなたが一週間以内に私に言ったと思いました、その隅に、あなたは神がいるとさえ信じていませんでした。」

彼は「まあ」と言いました、「ご存知のように……」と彼は言いました。

私は、ええ、時が来たらあなたは信じるだろうと思いました。そうです、一度自分のドアに十分に近づければ、信じられるでしょう。そして私は、「まあ、大丈夫、アンドリュースさん」と言いました。

彼は言った、「あなたは外に出て彼女のために祈ってくれませんか？」

「アンドリュースさん、お聞きしたいのですが」と私は言いました。私は「ここで私と一緒にひざまずいて、ここで彼女のために祈りましょう」と言いました。

そして彼は「まあ」と言いました、「私—私—私は何をすべきかほとんどわかりません。」と彼は言いました。

私は言いました「あなたはここにひざまずきます 指示します。」

43 そして、彼はそこに降りました。私は「さあ、手を挙げて……」と言いました。「まず、心の底から『神よ、罪人を憐れんでください』と言ってください。」それで私は彼を手に入れました。祈ることに、そして彼は泣き始めました。ああ、私の、私たちは……

彼は起き上がって目を拭いた。彼は言いました、「まあ、説教者、あなた。あなたは今、彼女が助けられると思いますか？」私は言いました……彼は「出かけてくれませんか？」と言いました。

そして私は「はい、外に出て彼女に会います」と言いました。それで私はメダに「上着を着なさい」と言いました。私たちはそこに出かけました、そして彼女が知ったとき、彼女は私たちを知らませんでした：ちょうど彼女の目の上の方法で腫れ、彼女の唇が判明しました。それで、私たちが入ったとき、小さな看護婦は、「さあ、ブラナム兄弟」と言いました。私をそこに連れて行ってくれました。そして私はひざまずいて彼女のために祈り、彼女に手を置き、しばらくそこに立っていました。そして妻がそこに立って、「何か見えますか？」と言いました。

私は「いいえ、ハニー、私はしません」と言いました。

私たちは赤ちゃんがいる場所の周りを歩いて出て、その産科病棟を見ました、ご存知のように、赤ちゃんがすべて横たわっていた場所です。彼女はそれらについて話していました。私は再びアンドリュース夫人に戻りました。ドアに入ったとき、それを見ました。ああ、私は言いました、「ハニー、それは終わるだろう。心配しないでください。神は聞いたのです。」

44 そして、私は家に帰りました。アンドリュース氏がやってきて、「説教者、それについてどう思いますか？」と言いました。

私は「彼女は生きるだろう」と言いました。

彼は泣き始めました、私の。そして私は「彼女は生きるだろう」と言いました。私は言いました「心配し

ないで神は、同じビジョンによって、そこにいる女性は生きるつもりであり、今、彼女はそこにいる、その女性であると言われました。」私は「今」と言いました(リースさん)。そして私は、「今、彼女も生きるつもりです」と言いました。

そして彼は、「ああ、私はとてもうれしい、説教者」と言いました。

しばらくすると電話が鳴り、彼は行きました。言った、「すぐにあなたの妻に来なさい。彼女は死にかけています。」

それで彼が来て私に言った、そして私は「あなたは私があなたに言ったことを信じますか?」と言いました。

彼は、「まあ、説教者、私はしたい」と言いました、「しかし、彼らは彼女が死にかけていると私に言います。」

私は「それは彼らの言うことには少しの違いはありません」と言いました。私は、「神が何かを話すとき、それはまさにそのようであればならない」と言いました。

それで彼は言いました…それであなたが最初に知っていることは、彼は「ああ、私はそれを見に行くことができない」と言いました。

私は「何がわかりますか?」と言いました。私は「あなたはまだ彼女が死ぬと思っていますね」と言いました。

彼は「私はただ緊張しているだけです」と言いました。

私は、それが今あなたにとって良いことだと思いました(わかりますか?)、それを汗をかくのに良いです。

45 だから、それを手放すだけです。そして、あなたが最初に知っていることは、別の電話が来ることです。彼らは通りの向こう側に彼を呼んだ。ここで彼は行き、戻ってきました。そして彼は「私はすぐに病院に行かなければなりませんでした」と言いました。それで彼は病院に行きました。

そしてメダは「それについてどう思いますか?」と言いました。

私は言いました「なぜ心配しないで神はそう言われました。それで解決します。」私は、「その女性が今から3日以内に私にリンゴのパイを焼かず、私がそのポーチに座ってそれを食べるなら、私は偽の預言者です」と言いました。そうです。彼女も本当に良いものを焼くことができました。だから私はそれを知っていました。それで私は病院のすぐそばで彼らに言いました、それを看護師に言いました。私は言いました。「彼女は今から3日後に私にパイを焼きます。そうでない場合は、私はミニストリーから出ます。」そうです。私は「それは絶対に真実だからです」と言いました。

46 そして、ご存知のように、彼はすぐに畑を横切って戻ってきて、粘液が鼻から流れ出て、彼はそのように跳躍してジャンプしていました。彼は言った、「説教者、説教者、何が起こったのか推測してください。」「私は彼女に会いに行きました、そして私がそこに着いたとき」と言いました、「何かが壊れて、すべての水が彼女を使い果たしました、そして彼女はベッドに座っていました、彼女は空腹だと言いました。そして、私は看護師に電話しました。」そして言った、「彼らは彼女にブイオンを持ってきて、彼女は言いました。ウイナーとザウークラウトが欲しいです。」彼女は普通に元気でした。彼女は今日生きています。そして見下ろした天の神…。

そして約1週間後、彼は私がそれ以来世界中でポケットに入れて持ち歩いている手帳を作ってくれました。そうです。それが真実です。天国の神はそれを知っています。彼女は今夜住んでいます、なぜですか?「イエスは生きていますので、彼女も生きています。神[不明瞭な言葉]。そうです。」

47 イエスは、彼らに話しかけたとき、彼らに明らかにし始めました…気づいてください、まさにそのこと…彼らは言いました…彼は「なぜあなたは悲しいのですか?」と言いました。クリスチャンは悲しむべきではありません。彼らは幸せで、本当に幸せで、喜びでなければなりません。彼は言いました「なぜそんなに悲しいのですか」

彼らは言った、「あなたはただの見知らぬ人であり、私たちがダビデの王位に就くことを期待していた預

言者、ナザレのイエスを知らないのです...」と言いました。「私たちは皆、彼を信じていました。彼は私たちの前で素晴らしいしるしと不思議をしました、そして彼はどんな偉大な預言者でしたか。そして、彼らは彼を救い出しました...人々は彼をピラトまで届け、彼らは彼を十字架につけ、彼を葬りました。」

そして、「それが起こってからこれは3日目です」と言いました。「私たちのグループの女性の何人かは、おそらくそれに花を置くために、またはそれ以上のために墓に上がった」と彼らは言った、そして彼らは墓が空であると言いました。そして彼らは彼が死からよみがえったと彼らに告げるビジョンを見ました。、彼はそれについて何かを見たと言った。」

そしてそれは先に進み、彼は言いました...彼は始めました...見てください、イエスは決して彼らと議論したり話したりし始めませんでした。彼は言いました...彼がしたことを見てください:みことばに直行しました。それだけです。神のことばである兄弟は、すべての救いと癒しの基礎と基礎であり、みことばの中にあります。あなたの気持ちではなく、あなたがそれについて考えていることではなく、神がそれについて言われたことです。アーメン。ああ、私は鋏を持っていて、それが決して離れないあなたの心の中に鋏を付けられたらいいのと思います。

48 今日、私は聖書の小さな場所、ジョエル...アモス、8:11を読んでいました。そこでは、パンやパンと水のためではなく、神の言葉を聞くための飢餓があると書かれていました。その人々は海から海へ、東から西へ、あちこちに行き来し、神の言葉を求めてそれを見つけることができませんでした。現時点でそれがこの国に合わないのなら、どこに合うのかわかりません。そうです。パンは必要ありません。たくさんありました。私たちはたくさん食べるもの、たくさん着る服、住むのに良い家、そしてすべてを手に入れました。しかし、神の言葉を聞くことには飢饉があります。男は何を信じればいいのかかわからないでしょう。そうです。

それらはすべて混乱しています。ある人はこれを言い、ある人はそれを言います。そして一人はこれを言い、もう一人は何か他のことを言います。「主はこう言われる」に基づいて考えてください。神はそれを確認されます。

49 イエスはまっすぐにみことばに行き、みことばを注ぎ始めました。と言いました、「理解できない、愚かで心が遅い」。旧約聖書に戻り、キリストがどのように苦しみ、三日目を育てるべきかを証明し始めました。

それで彼らは彼らが行くところの小さな場所に着いたので、彼らはレストランに入った。それで、彼は通りかかったように理解しました。あなたは今までに時間がありましたか...多分ここに横たわっているこのかわいそうな男はこの簡易ベッドで苦しんでいます、彼はあなたのそばを通り過ぎるようにされています。彼は見えません。彼を招待してください。

たぶん、このかわいそうな男が松葉杖でここに座っている、男は車椅子に座っているのでしょうか。彼は今夜あなたのそばを通り過ぎるように振る舞うかもしれませんが、そうはなりません。ただ彼をあなたのところに来て、何が起こるか見るように誘ってください。ただ彼を招待してください。

彼らは言いました、「ああ、入って来なさい。私たちはあなたがみことばを教えるのを聞くのが大好きです。すべてのパリサイ人などを聞きましたが、あなたの教えには何か違うことがありました。入って、もう少し教えましょう。」それで彼らは入りました。そしてドアの中に入ると、それがどんなに謙虚であっても、おそらく謙虚な小さな小屋かもしれませんが、彼が入るには決して謙虚すぎることはありません。

50 あなたがどんなに貧しくても、あなたはどんなに悪い状態でも。あなたは決して悪くはありませんが、イエスがあなたの招待で来るものです。あなたがどれほど罪を犯したとしても、あなたが何をしたとしても、ただ彼に招待を与えるだけです。彼はすぐに来て、彼の住まいを作ります。素敵じゃないですか？

大丈夫、彼らは彼を招待しました、そして一度入ると、ドアは彼の後ろで閉まりました。彼は他の世界を締め出しました。さて、もしあなたが今夜、主の臨在について少し迷っているなら、集会が起こっているときに、主をあなたの心に招き、そしてドアと外側の残りの不信仰を閉じてください。彼がご自身をあなたに知らされていないかどうか見てください。

51 そこに着いたら、テーブルに座って、おそらくウェイトレスが来て、彼らは夕食を注文しました。そして、彼らがそれをテーブルに置いたとき、間違いなく彼の心臓が鼓動し、彼らを見て、そして彼らが彼を見ているのです。彼らはそれを知りませんでした。なぜ、聖書は彼らの目を閉じていると言っていました。彼らはそれを理解していませんでした。彼らは彼と一緒に座って、彼と一緒に歩いて、彼と正しく話していました。ここで、彼と一緒に食事をしましたが、彼が誰であるかを知りませんでした。

そして、友人、それは今日のように真実です。それは私がこのプラットホームに立っているのと同じくらい真実です、復活したイエス・キリストがこの建物の中において、今個人と話しているのです。あなたがそれが彼の声であるとしか認識できなかつたなら。私はそれがしばらくして彼自身が現れるようになり、彼が建物の中にいることをあなたに証明することを祈ります。

イエスは死んでいません、彼は死からよみがえられました。そして、彼は地上において、肉体的な形で地上にいたときに持っていたミニストリーを続けています。彼は約束した通りに人間を通して続けています。「私がすることそのもの、あなたもしてください。」救い、父の御心を行い、それが彼の目的でした。そして、彼は今夜ここにいます。

52 そして、彼がそれらの弟子たちをそこに置いたとき、テーブルに座って、彼らを見て、彼は考えました、まあ、あなたは私が今福音を教えているのを聞いたと思います。あなたは今日私が説教するのを聞いたので、私が本当に彼であることをあなたに知らせると信じています。それで彼はパンを手に取りました、そして彼は他の人がそれをしたのとは少し違うことをしたので、彼らはそれが彼であることに気づきました。そして彼らの目が開かれ、彼らはそれを認識し、彼は彼らの視界から消えました。

私、彼らは安息日の旅で、そこにたどり着きましたが、彼らは確かに、足が軽く、気さくで、跳躍し、ジャンプして、主を賛美しました。彼らは彼が死からよみがえられたことを知っていました。戻った....彼は今、彼らの宗教を議論するために戻ってこなかった。彼らは心の中に一つのことを持って戻ってきました: イエスは死からよみがえられました。

53 それは今夜のことであり、宗教について議論するのではなく、さまざまな段階について議論すること、さまざまな教会の宗派について議論すること、さまざまな国について議論することです。今夜、世界が知る必要があること: イエスは死からよみがえり、人の間に生きておられます。アーメン。これを正確に特定し、これを切り取り、これを動かすことについて議論するのではなく、これがインスピレーションを得ました。ただそれを忘れて、彼を見つめ、彼が死からよみがえられたと信じてください。そうすれば、彼はあなたに現れます。アーメン。とても簡単です。

あなたは、「もし天使がそれを説教しているなら……」と言います。神は天使に福音を説教するように命じられませんでした。彼は人々に福音を説教するように命じました。彼は天使たちに「私はあなたと一緒に、あなたの中にいる」とは決して言いませんでした。彼は人に言った、「私はあなたと一緒に、あなたの中にいます」。彼は天使に「私がすること、あなたもするだろう」とは決して言いませんでした。彼は男性に、「私がすること、あなたもするでしょう」と言いました。

福音はみことばの説教によってもたらされます。神は人間を通して現れます。アーメン。今夜神が地球に向けられた唯一の目は私のものとあなたのものであります。彼が持っている唯一の手は私たちの手です: 神は彼の民の中で働いています。神は宇宙にいます。神は御言葉の中にあります。神は御子の中にいます。神はご自分の民の中にいます。

54 神は今ここにいて、死からよみがえり、毎晩、私たちの中で自分が生きていることを証明し、罪人、死んだ罪人を疎外し、神から切り離し、彼らを神の認識に導き、彼らの魂を救い、彼らを聖霊で満たします、病人を癒し、視覚障害者に視力を与えます。

目を覚ます、人々。「奇跡の時代は過ぎ去った」、「これらは別の時代のためのものだ」と言って、教義のあらゆる風に乗っ取られてはいけません。だまされないでください。復活した主イエスを信じなさい。彼がそのイースターの朝に育てられたとき、それはそこで彼らの教えでした。しかし、彼は生きていました、そして彼は今夜ここにいます。彼はここにいます。それを決して忘れないでください。

私が今まであなたに言ったことを決して覚えていないなら、これによって私を覚えておいてください。神の御子イエス・キリストが死からよみがえり、今日、人の中で生きており、罪人を追い出し、病人や苦しんでいる人を癒しているのです。彼はあらゆる点で彼がこれまでもこれからも同じです。同じ昨日、今日そして永遠に、失われた罪人を求めている主イエス。

55 あなたは迷っていますか? あなたが救われれば、それは素晴らしいことです。しかし、あなたが迷子になった場合、神はあなたを救う準備ができています。私が考えることができる最悪のことは誰かが失われたことです。

ハンターとして、私は山に行きます…。閉まるちょうど1分前に、それから私たちはすぐに病人のために

祈り始めます。聖霊が私にここの人々を呼び、彼らのために祈るようにさせてくれると思います。

今、私は森の中で一度迷子になりました。私は行ったことのあるカナダとの国境近くまで上がった。私は森の人としては良すぎて道に迷うことができないと思っていました。そして、あなたが自分自身を信頼するとき、それはあなたが道に迷うときです。それはあなたが迷子になったときです。それはアダムが失われたとき、彼が自分自身を覆うためにイチジクの葉を作ることを自分自身に信頼したときです、見てください。彼は流された血の真価に来なければなりませんでした。

56 そして、あなたが考えるときはいつでも、ああ、私は教会に行きます。説教者、私はあなたと同じくらい元気です。確かにあなたはそうですが、あなたは神があなたになりたいと望んでいるほど良いですか？あなたはそもそも良くありません、そして私はそもそも良くありません。私たちの中にある唯一の善は、神がイエス・キリストを通して私たちのためにしてくださったことです。そうです。はい、先生。私たちは皆罪人ですが、私たちを救う唯一の方法は、主イエスとその自由な赦しを受け入れることです。

今、私は完全に迷子になりました。私は妻に戻ってくると言いました。私は彼女を連れて行きました... ビリーはほんの小さな赤ちゃんで、3、4歳くらいの小さな仲間でした。私は5歳だと思えます。そして、私たちはカナダとの国境近くのアディロンダックの頭の中にいました。そして、私たちはそのような古い丸太の道を約25、30マイル上って行きました。そこで彼らはいくつかの切り刻み、パルプの木を切りました。そして、レンジャーのキャンプに来ます。私はそこで何年も狩りをしていました。

57 私は妻に狩りをするつもりだと言いました、そして私は言いました、「私は鹿を狩るためにここに行きます、そして私は鹿を拾い、戻ってきます。正午までに戻ってきます。」

彼女は「私はあなたを待っています」と言いました。その夜は寒い。私たちは小さなビリーを連れて私たちの間に置き、彼が凍死しないようにしなければなりませんでした。11月は寒く、手足は凍りついて木から落ちていました。少し避難所を休んでいたの、キャビンは施錠されていました。ハリケーンの山...塔がそこにあり、私たちは国の別の場所に戻って狩りをするつもりでした。

それで彼はキャビンのロックを解除するつもりでした、彼女はそこに入ることができました、そして私たちが旅行に行って去った間、彼女とビリーはとどまりました。ですから、彼女はただの子供で、約21歳、22歳です。そして、その夜、私たちは凍るのが好きでした。それで、少し火をつけて少し寄りかかって、それで翌朝私は鹿を手に入れ始めました。なぜなら彼はその日に来ることになっていたからです。

それで、私は正午に戻ると彼女に言いました。私はいくつかの切り刻みを通して丘を越えて降りました。尾根に沿って戻ってくると、ボブキャットが交差しているのが見えました。撃つには近づききれなかったの、丘を越えて登りました。私は一緒に立ち上がって、大きなクマの巣穴に入りました。そこには何もありませんでした。私は戻ってきて、巨人、彼らが巨人と呼ぶものに向かって降りました：何マイルも何マイルもそこにある大きな巨大な森、そのようなすべての平らな森、そして風袋引き。

58 それで私は脇に寄りました、そして私は鹿が上にいるのを見ました...偉大な大きな仲間、そして私は鹿を撃ちました。あそこを通り抜けたとき、「さて、ここは12時過ぎなので急いでください」と言いました。そして私は戻って、この方法でバックアップを開始しました。それが来た...嵐が降りてきた、霧。森の中で霧が発生すると、ハンターなら誰でもそれが危険な時期であることを知っています。あなたはあなたの前にあなたの手をほとんど見ることができません。

さて、私は歩き始めました。私は「急がなければならない」と言いました。私は歩き回った。私は歩き続け、歩き、歩き、歩き続けました。私は、まあ、どこでオフにしたらいいのだろうと思いました。そして、あなたが最初に知っていることは、私はたまたま立ち止まって、見て、私は思った、まあ、私はこの場所をどこかで見たことがあります。見上げると、鹿がぶら下がっていました。私はどこかを歩き回っていることを知っていました。それで私は「今、私はある特定の方法で行かなければならない」と言いました。そして、私は再び歩いて、その場所にまっすぐに3回戻ってきました。

さて、インディアンは死が歩くと呼びます、あなたは知っています。それがあなたです。あなたは輪になって歩いています。そして、私はそれを知っていました、しかし、私はどのように出るつもりでしたか？

そして今、嵐はすぐ下にあり、木の上を吹き、霧はただ曲がり角を曲がったところにありました。そして、私は、今、賢明なことをすべきだと思いました。

私はどこか、どこかの洞窟に行き、嵐が終わるまで冬眠し、それから高い場所に登って、自分がどこにいるかを見て、続けていたでしょう。しかし、私はそこに妻と赤ちゃんを連れてきて、その夜凍死して死んでしまいました。彼らは人生の中で森の中にいることはありません。彼らは自分たちの世話をする方法を知りませんでした、そしてとにかく彼らを怖がらせて死にました。私は彼らがその夜両方とも死ぬことを知っていたからです。私はそれらを見つけなければなりません。そして、なんという気持ち。ああ、私の。その夜、森の中で死ぬ赤ちゃんと妻。

59 しかし、私は森の中で迷子になるにはあまりにも良かったと思いました。それで私は回りました。さて、ここで私は片道に行かなければならないと思いました。山に登ると、風が私に向かっていているのだと思いました。私はこのように降りてくるので、それはこのように投げるでしょう。さて、嵐が来たのですが、どちらの方向に来たのでしょうか？

そして、風が変わり、ポケットやサーキットが変わったので、しばらくの間このように、そしてしばらくの間、このように吹くでしょう。そして、ああ、それは曇っていて、霧がかかっている、その低い場所で木の両側に苔があり、私がランドマークとして見つけることができる世界で何もなくなるまででした。そこに吠え声を上げてください。もちろん、両側の吹雪のように風が下がることはありません。森から抜け出すために私が見つけることができるものは世界には何もありませんでした。

60 それで私は「まあ」と言いました。緊張し始めます。そして、誰もが何が起こるか知っています、そしてあなたは熱を取り、そしてあなたは自殺するか死ぬかのどちらかです。それで私は「ああ、私の」と言いました。私はここから出なければならぬと思った。私は持っています...私は言いました...ちょっと座ってください。私は言いました...顔の横で自分を叩きました、私は言いました、「ここで見て、ウィリアム・ブラナム、あなたは失われています。どうしたの？ あなたはここから抜け出す方法を知っています。」私は自分をブラフしていました。

私は迷子になりました、確かに私は迷子になりました。私は言いました。「なぜ、あなたは森の中で上手すぎて道に迷うことができないのです。私の良さ、あなたの祖父はあなたがここに座ってこのように振る舞うのを見るためにあなたについてどう思いますか？ なぜここから立ち上がるのですか。」私は起き上がって少し遠くまで歩きましたが、それでも道に迷いました。それだけです。

そして私は、「まあ、私は...私はここから何らかの方法で出なければならぬ...を作らなければならぬ」と言いました。それで私は「この方法でまっすぐなビーラインを1本作るつもりです」と言いました。そして、私は言いました。私はこのようにまっすぐ進んでいます、そして私はハリケーン山にまっすぐに出てくることを知っています。ハリケーン山しか見えなければ、塔がどこにあるかわかり、そこから降りることができました。私はその東にいるのか、西にいるのか、どこにいるのかはわかりません。」

61 だから霧が吹き飛んでいて、材木にひびが入っているので、私は「ここに行きます、まさにこの方法で」と言いました。そして、私は必死に行き始めました。耳のすぐ横で何かが私に言った、「私はトラブルの時に非常に現在助けになっている」。[テープ上の空白部分]:「私は主です。私はトラブルの時に非常に現在助けになっています。」

私は、ここでルッキーだと思いました。私は出かけることを知っています。さて、私に何か問題があります。ほら。私は言いました「私は声を聞いています 私に何か問題があります。」私は言いました、「ここを見て、まっすぐになってください、男の子、どうしたの？ あなたは続けなければなりません。あなたは失われています。あなたは自分がどこにいるかを正確に知っているのです、続けてください。」

そして私は思った...ここを見下ろした。午後はまだ4時半でした。そして、私は、ああ、私の、私は正午にそこにいることになっていたと思いました。彼女は今悲鳴を上げている。「彼女が知っていたので...森の中にいるあの子は、彼女の人生で森の中にいたことは一度もありませんでした、そしてその小さな赤ちゃんはそこにいました。火をつける方法すら知らないでしょう、何も。」

62 だから、彼らはそのように外に出るのが怖いでしょう、確かに野生動物がいるでしょう...もちろん、彼らを傷つけるものは何もありませんでしたが、彼らはそうでした—彼らは怖がっていました。それで私は歩き続けました、そして私は何かと言われるのを聞き続けました。とても...私は主です。私はトラブルの時に非常に現在助けになっています。」

私は立ち止まって、それが彼が話しているのではないかと思いました。私は言いました「私は道に迷ったことを認めるのに十分な人ですか？ 私は道に迷ったことを認めるのに十分な人ですか？」私は帽子を脱

いでそれを置きました、そして私は言いました、「神様、私は道に迷っています。私は迷子になっています。どこにいるのかわかりません。ここから抜け出す方法がわかりません。」私は帽子にひざまずき、木の横に銃を置きました。

私は言いました、「父よ、私は完全に失われています、私は……自分の中で自立していると感じることによって、私は死ぬに値します。しかし、主よ、私のかわいそうな小さな妻と赤ちゃんを憐れんでください。彼らも死ぬでしょう。彼らは生きる価値があり、私は価値がありません。しかし、主よ、私は道に迷っています。あなたは彼らのために私を助けてくれますか？」私は言いました「どうしたらいいのかわかりません。それがあなたが話しているなら、あなたは時間の問題で現在助けになっていると言って、あなたは今私の羅針盤になっています。あなたは私を連れ出します。私の周りには自然な兆候はありません。しかし、私は道に迷っています。手伝ってくれませんか？」

63 私は立ち上がり目をつきました、そして私は、まあ、神様、あなたが私を導いてくれると思いました。ここに行きます、どちらに行くのかわかりませんが、歩くつもりです。私はこのように来たと思っています。私は言いました、「私は行きます。…今それは私自身の意見です。私はこのように行きます。」そして、私は帽子を下ろし、ライフルを手に取り、このように進み始めました。

さて、私が今夜このプラットホーム、この聖書に立っているのと同じように、誰かが私の肩に手を置いているのを感じました。そして、私はそれが誰であるかを見るために向きを変えました、そして私が向きを変えたのと同じように、霧はこのように戻って晴れました。そして、私はハリケーン山の塔をこのように戻って見ました。

私はこの方向に素早く向きを変え、自分に向き合い、帽子を脱ぎ、ライフルを投げ、手を上げました。私は言いました、「神よ、ああ、これに感謝しています。主よ、私はすぐにカナダに行きました。私は行ったことがあるだろう…私はそれから出ることは決してなかった。」私は「主よ……」と言いました。それは私自身の意見でした。そして時々あなたはあなた自身の意見を取りました、あなたは毎回うまくいかないでしょう。祈り、神に何をすべきか尋ねてください。

64 そして私はそれに目を向けました。私は自分の顔をまっすぐに保つ必要があると思いました。さて、霧は再び覆い隠されました。それは私が見ることができるときまでちょうど十分に元に戻りました…私はその塔に上がることができるか、または山のその側を横切ってその線を越えることができるかどうかを知っていました…

私はレンジャーが彼の妻が夏に滞在したキャンプまで走る電話線を張るのを手伝いました。そして、私がそれに到達することができれば、私はそのラインを手に入れるだろうと知っていました。どんなに嵐がひどくても、家族への道を見つけることができました。そして、私がそのようにそこに立っていると、何かが私に来て言いました。「はい、あなたはこれよりもひどく失われました。しかし、カルバリーから目を離さないでください。」

私はそのように歩き始めました。私は迂回できませんでした。私は歩き回ることができませんでした。それは私のコースから私を投げ捨てるでしょう。私はそれから少なくとも5マイルほど離れていました。そして、それはすぐに暗くなります。そして、私は茂みを通り抜けました、そして、鹿は私の前に跳び上がりました。私は転んで足の皮をむいてしまいました。真っ暗になって、私はその時引っ張っていて、これらの崖や物事を立ち上がろうとして、自分のコースをできる限り最高に保とうとしていました。

65 私は今一番上に見えるように見えると思いました。さて、その線が見えなかったので、このように手を上げていました。ライフルをスリングで肩にかけ、手を上げて歩き続けました。私は言いました、「主よ、手を挙げました。私がそれを通過するとき、私にその線を感じさせてください。」雪が顔に当たって、ブラシをかけます。私は歩き続けました。

そして、あなたが最初に知っていることは、何かが私の手に触れたということです。私はそれを感じました。それはそのワイヤーでした。ああ、私の、あなたはそれがどんな気持ちだったかわからない。私はそのワイヤーに従うかどうかを知っていました、それから手を離さないでください、そのワイヤーをその丘を約2年半または3マイル下って行ってください、私は妻と赤ちゃんを一番下に置いて正しいでしょう丘の。

そして、そこにそれが私に来ます:はい、すべての人は神から疎外され、この世界で切り離され、彼がどこに行くのかわからず、どこにでも運ばれました。しかし、もしあなたがカルバリーに目を向け、神に手を差し伸べ、何かがあなたの手当たるまでキリストをあなたの救い主として受け入れるなら、それが帰り道です。

その時、聖霊の導きに従ってください。彼が変わらない手にあなたの手を握ってください。それはあなたをあなたの恋人である主イエスにまっすぐに導きます。信じますか？

66 ちょっと頭を下げて祈りましょうか。私たちの天の父、私は古い歌を思い浮かべます、それは「私はかつて失われました、しかし今私は見つけられ、盲目でした、しかし今私は見る」と言いました。そして、私はその夜の目がくらむような嵐、私の心臓が跳ねる、私の体の中で熱が荒れ狂う、私がある夜に死ぬことを知って、そして私の妻と赤ちゃんも死ぬことを知って、死ぬほど怖がっていたと思います。

神よ、今夜ここに座っている男性と女性がいるかもしれませんが、それは霊的な領域でも、同じ予測の中にあります。お父さんやお母さんがすぐに来なければ、彼らの家族は滅びるでしょう。子供たちはここ世界で実行されます。彼らが今夜、地球上にぶら下がっているこの霧の霧をのぞき、カルバリーを見て、主イエスに手を挙げ、家につながるライフラインに触れてくださいますように。

主よ、この一連の奉仕の最後の夜にそれを認めてください。すべてのわがままな、失われた男性または女性を祝福してください。多分彼らは肉の腕を信頼しているのでしょう。たぶん彼らはいくつかの教会の信条を信頼したことがあります、決してその境界線に触れたことはありません。彼らは心にその祝福された保証を決して持っていませんでした、これが幸福、自由、そして主イエスにつながる線、カルバリーから栄光に走る線であるということです。

今夜、建物の中にいる暗くて驚異的な疎外されたすべての人が彼らの手に届きますように、父よ、ちょっとの間感じてくださいますように。彼らは彼らを栄光に導く彼らの心への信仰を固定する何かに触れるでしょう。

67 頭を下げている間、みんなが祈っています。もし私が今日から一年戻るとしたら、ここにいるあなたの方の多くはここにいないでしょう。今夜ここには2000人がいると思います。誰かが抜けるでしょう。あなたは暗闇の中でよろめきましたか？ 集会に来ていると、主イエスのしるしが復活しているのがわかります。あなたはみことばを聞きます。彼はそこであなたと話していました、そしてあなたは暗闇の中でよろめきます、あなたは今夜彼に手を挙げて、「主イエス様、私は今、命綱に触れたいです。手を挙げています。」

神はあなたを祝福します、兄弟。神はあなたを祝福します、姉妹。神はあなたを祝福します、ええ、あなた。そうです、どこでも。神はあなたを祝福します、お母さん、一緒に....神はあなたを祝福します、若い男。神はあなたを祝福します、小さな男の子。ずっと後ろに戻って、そのの周りに立っている人は誰でも言うでしょう....

私ではなく、神に手を挙げてください。スペインの兄弟、神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します、お嬢さん。神はあなたを祝福します、そこに座っている白人女性。バルコニーを上って、私の左側で、みんながそこに沿って手を見上げています。ちょっとそこにいるのを感じて、「神は私に罪人を憐れんでください」と言ってください。

68 神はあなたを祝福します、ここにいるスペインの女性。右側のバルコニーで手を挙げて、こう言います。「はい、今彼を信じています。私はあらゆる種類の暗闇の中をさまよいました。私は本当に知りさえしませんでした....私は教会に行ったことがあります。ああ、はい、私は本に私の名前を載せました。しかし、私が今それを手に入れているという希望を本当に持っているために、私は本当にその保証を持っていませんでした。しかし今、私はイエスの流された血と彼の復活の力に基づいてしっかりと来ています。そして、その復活した御霊が私の心に語りかけています。私は今、手を挙げて、「神様、ここで私は命綱のために手を挙げました」と言っています。」

何十人もの人が手を挙げています。他の誰かが今あなたの手を上げますか、それは少し前にどこでもあなたの手を上げませんでしたか？ 神はここであなたを祝福します、兄弟。神はあなたを祝福します。神はそこであなたを祝福します、姉妹。神はそこに戻ってあなたを祝福します、兄弟。神はあなたを祝福します、姉妹。あなたの手が見えます。他の誰か？ 兄弟よ、神はあなたを祝福します。あなたの手が見えます。他の誰か？ 神はあなた、あなた、ここにいるあなた、両手を上げたお嬢さんを祝福します。他の誰か？ ここに座っている人、神はあなたを祝福します、先生。

それは癒される良い方法です、ただそのように主を受け入れることです。他の誰か？ 両手を上げてここにいる小さな男の子、神はあなたを祝福します、ハニー。他の誰か？ この女性、年配の方、手を上げて、はい。「何年も無駄になりましたが、今帰宅しています。」

69 若い男、神はあなたを祝福します。神はここであなたを祝福します、兄弟。他の誰か？あなたが手を挙げて、それをあなたの心から意味するとき、神はその時にそれをする義務があることを覚えておいてください。神はここに座っている色のついた姉妹を祝福します。小さな茶色のセーターを着て、手を上げてここにいる兄弟、神はあなたを祝福します。神はここに座っている女性を祝福します。そうです、姉妹。

イエスは今、「わたしの言葉を聞いて、わたしを遣わした方を信じる者には、永遠の命がある」と言われました。神はあなたを祝福します、そこにいる兄弟、両手を上げて、今イエスを受け入れています。神はあなたを祝福します、先生。神はあなたを祝福します、レディ。神はあなたを祝福します、先生。神はあなたを祝福します、先生、そこにいる若い男、ちょうど....

70 イエスは何と言いましたか？「あなたには今、永遠の命があります。わたしの言葉を聞いた者は(わたしはそれをあなたにもたすために最善を尽くした。)今、わたしを遣わした方を信じ、永遠の命を持ち、決して非難されることはない。」

神はあなたを祝福します、姉妹、ポストのそばに立っている、スペインの少女。「永遠の命を持っています、決して滅びることはありません、決して滅びることはありません...」あなたの心からそれを意味します。神はあなた、母、老婆を祝福します。誰かが彼女が手を上げるのを手伝わなければなりません。あなたは主イエスに来ています。

「ブラナム兄弟、それはどういう意味ですか？」と言います。それはあなたがその場で死から生へと移ったことを意味します。神はあなたに聖霊を与えることについて、その残りの面倒を見るでしょう。一度だけあなたの心の中でそれを意味します。キリストをあなたの心に来させなさい、そうすればあなたは神の恵みの中で成長するでしょう。神はただあなたに物事を展開してくださいます。まず、正しく始めましょう。「信仰によって...信仰によって、あなたは仕事ではなく恵みによって救われます。だれもが自慢することがないように」と降りてください。あなたにできることは何もありません。これをやめるか、やめるかです。あなたはただ信じています。神は恵みによってあなたを救われます。

71 姉妹よ、神はあなたの手をそこに上げて祝福してくださいます。神はあなたを祝福します、そこにいるお嬢さん。あなた、あなた、あなた、ああ、私の、そうです。新しい人たちはどこにでも手を挙げて、主イエスを受け入れます。私、私たちは今およそ60か70歳だと思います。他の誰かがあなたの手を上げましたが、それは彼らの手を上げていません、そして「私を覚えておいてください、神様」と言います。

神はあなた、小さな仲間、ハンカチを持った小さな女性を祝福します。私たちが祈りに行く前に他のどこか？神の祝福があります、私はその男が後ろにいるのを見ます、はい、後ろに、スペインの兄弟、そこに戻って別の人の手を握っています、ええ、私はあなたに会います。神はあなたを祝福します。神はあなたを見えています。神は彼女の手を上げてそこにいる少女を祝福します。ただの子供ですが、主のもとに来ます。大丈夫、神はここであなたを祝福します、姉妹。ああ、それは素晴らしいことです。

72 少し待つて、聖霊に心に語りかける時間を与えてください。多分彼は聴衆の上を動き、すべてのドアをノックしているでしょう。誰があなたに手を上げるように言ったのですか？誰がそう言ったのですか？イエスは言われました、「わたしの父が彼を引き寄せない限り、だれもわたしのところに来ることはできません。そして、私の父が彼らの心をノックした後、来るすべては、彼らのライフラインに手を挙げ、「私は彼らに永遠の命を与え、最後の日に彼らを引き上げます。」

いつの日か、人生が喉からゴロゴロしているとき、多分自動車事故で、多分あなたに来る熱、病気、またはただの死によって、あなたがあなたの袖に冷たい痛みが来るのを感じる時、あなたの友人は泣いているでしょう、あなたは祝福された贖い主が両腕を伸ばしてそこに立って、あなたの魂を新しい体、新しい男性、若い男性または若い女性に置き、もはや年をとらず、永遠に彼の前に住むのを見てください。なぜなら、あなたがしたことは、ただ信じて手を挙げたからです。

73 神はあなたを祝福します、ここに座っている最も甘い小さな縮れ毛の金髪の女の子、彼女の小さな手を上げ、彼女の小さな目は水をまき、これをこのように見えています。あなたは「神はその子供に話しかけていません」と言います。確かに彼はそうです。彼女はまだ世の中のことで自分の心呼び起こしていません。彼女は無実で、ただの赤ちゃんで、6、7歳くらいです。神はあなたを祝福します、その姉妹、お嬢さん。さて、別のものがある場合は、閉じる前に。

神の祝福があります、彼らの列全体があり、そこに戻ってきているように見えます。あなたがまだ救いのために手を挙げているなら、私はただ閉じるのが嫌いです。ここで今、何人が聖霊を受けたいですか？手を

挙げていただけますか？建物中、いたるところに。私、どこでも手を見てください。神は憐れみ深くありません。今から祈りましょうか。頭を下げて目を閉じた人。

74 イエスは死からよみがえられました。ああ、私の、これが私たちが今別れている夜だと思うために。しかし、あなたはキリストを受け入れました。あなたが今夜彼を受け入れたという理由だけで、私たちは決して別れることのない場所で再び会います。それは違いを意味します。

天のお父様、素晴らしいフェニックスの集会は今終わりに近づいています。そして最後に、多くの罪人があなたに手を挙げました。あなたが言った言葉の教えに基づいて、「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持ち、滅びたり、非難されたりすることはない。」と非難されます。もはや神の前で非難されることはありませんが、彼らの代わりにイエス・キリストと彼の苦しみを受け入れました。

75 さて、父は、彼らがライフラインに対して手を握り、栄光に向かって歩きながら、優しく、謙虚に彼らを導きます。あなたは今彼らを祝福しませんか？父よ、彼ら全員を救ってください。あなたの王国で、私が彼らを見て、彼らの手を振ってくださいますように。そして、それは可能でしょう、あなたが私たちのために今夜のサービスをレビューすることができるかもしれません。彼らは、「はい、それはそれでした、どこにあるのか……それは私が手を挙げたのです」と言うでしょう。

神は言われます、「ええ、私はあなたを見ました。私はあなたの心を引っ張った。あなたは手を挙げました。私はあなたを受け入れました。そして今、あなたは私の最愛の子供です。人生の喜びに入り、世界の創設以来あなたのために準備されています。喜びに入りなさい。」

76 父よ、あなたに感謝します。すでに来て聖霊に満たされたいと願っている人々は、奉仕のために取っておかれ、彼らにもそれを与えます、主よ。最後に、道の終わりに、人生がすべて終わり、素晴らしい結婚式の夕食が設定されると、そのテーブルは数千マイルの長さで、そこに座っているすべての年齢の血で洗われました。王様が出てきて、彼らの目から涙をぬぐい、こう言います。「もう苦しみはもうありません。今泣く理由はありません。私たちは皆ここにいます。さあ、わたしの父に祝福がありますように。」

その時まで、父よ、彼らの魂を幸せに保ち、すべての不潔さと不義から彼らを清めてください。彼らが栄光に向かって帆を立てて毎日歩き、他の人をあなたのところに連れてきますように。私たちはそれをイエスの御名によって尋ねます。あなたの愛する御子は今、彼らを永遠の命に召されています。アーメン。[テープ上の空白のスポット]

77 心を尽くし、力を尽くして信じなさい。あなたが想像しているすべての感情、またはすべての迷信的な感情を取り除いて、それを捨ててください。それから、ただまっすぐに神を見て、「私はそれを心から、厳粛に信じています」と言ってください。そして、聖霊が何をするかを見てください。

さて、すべて準備はできていますか？さて、神の栄光とイエス・キリストの復活の証のために、私は建物内のすべての霊を自分の支配下に置きます。さあ、敬虔になりましょう。動き回らないで、じっと座ってください。さて、この閉会の夜、私にその恩恵をしてください。イエスの御名によって、あなたはそうしますか？ただ本当に敬虔になり、じっと座ってください。彼らは私を見ます。彼らは私を長く列に並べさせないでしょう。そして....私はとても弱くて疲れているからです。

78 そして、私はクリスチャンの最も暖かい愛であなた方全員を愛しています。神はあなたを祝福します。油注ぎが私を襲った場合、もちろん、彼らがいつ私を連れて行くのか、何が起こるのかはわかりません。そして、またすぐにお会いできることを楽しみにしています。それまで、私はあなたのために祈ります。神はあなたを祝福します。

大丈夫、レディ。さて、あなたがちよつとここに来るなら、姉妹。今、私たちはおそらく、私たちはお互いに見知らぬ人だと思えます。私たちはそうです。あなたは私を見たことがあります、私はあなたを知らないという意味です。もしそうなら、私はあなたを認識しません。私はあなたを認識していません。そして、私たちはちょうどあなたが聴衆の中において、振り返って私に会うのと同じようにお互いを見ました。

しかし、あなたが誰であるか、あなたがどこにいるのかを知るために、何が起こったのかを知ることは不可能ではありませんか？それが霊的な啓示、ビジョン、または何らかの方法で明らかにされない限りのみです。私はあなたが何のためにここにいるのか、私が知っている以上にわかりません...まあ、他の誰かがここにいます。私はしません。しかし、彼はあなたが何のためにここにいるのかを知っています。そして、彼はあなたが何のためにここにいるのか教えてくれ、あなたが何のためにここにいるのかを見せてくれます。それ

があなたの体の癒しのためであるなら、まあ、神はそれを信じるあなたの信仰によってそれをすることができます。私はあなたに言うことができます。

79 あなたは個人労働者だと思います。それで、しかし、もし彼があなたが何のためにここにいるのかを私に知らせてくれるなら……今、私はサマリアでのイエスから女性へのように、男性から女性へのようにあなたと話しているのです。

さて、聴衆に、ここに私が知らない女性がいます。あなたは彼女を知っているかもしれません。ここフェニックス出身ですか？ あなたはフェニックス出身ですか？ 世の人はここを知っていますよね？ まあ、私は彼女を知りません。私は私の人生で彼女に会ったことはありません。しかし、あなたはこれが真実であるかどうかを知っています。そして、あなたは私が彼女について何か知っているかどうか知っています。私には方法がありません。私はその女性を知りません、ましてや彼女について何も知りません。

80 さて、それが行われる唯一の方法は……もしそれが聖書の言葉で行われたとしたら……さて、あなたが学んだある種の信条を古いものから取り除いて、聖書を見てみましょう。イエスは言われました、「私がすること、あなたもそうするでしょう」。さて、彼はこのような女性に会ったとき、彼女と話し始めました。そして、あなたが最初に知っていることは、彼は彼女の問題がどこにあるかを正確に見つけたということです。そしてその場合、彼女は5人の夫を持つ女性でした。「あなたの夫を取りに行きなさい」と言いました。

彼女は「私は何も持っていません」と言いました。

「あなたは5つもらった」と言いました。

彼女は言いました、「私はあなたが預言者だと思います。」「メシアがいつ来るか知っている、それが彼のしるしになるだろう」と言った。ほら、救世主のしるし、それをするために……今日の人々は、それは精神的なテレパシーだ、それは悪魔だと言っています。私たちが今の状態にあるのも不思議ではありません。それは復活した主イエス、救世主のしるしです。

しかし、彼女は「あなたは誰ですか？」と言いました。

彼は「私は彼です」と言いました。

彼女は街に駆け込み、「さあ、ほら……」と言いました。一人の女性の証言のために、その街でリバイバルを始めました。彼は彼女に一つのことを話しました。そして、これが完全に当てはまらない場合は、今夜、彼女の何が悪いのかを知る以外に。そうですか？ 誰もがそれを認識していますか？

81 今、彼女はフェニックスの女性だと彼女は言った。そして、あなたは皆彼女を知っています。あなた方の多くは手を挙げました。あなたは彼女を知っています。さて、主は彼女の何が悪いのか教えてください。しかし、もし彼女がそうであるなら、もし彼女が家庭の問題、経済的な問題、または癒し、病気、またはそれが何であれ、または彼女の魂のために、それが何であれ、神はそれを明らかにすることができます。そして、彼女はそれが本当かどうかを知るでしょう。そして、もし彼が何であったかを知っているなら、彼は確かに何になるかを知っています。

今、誰もが敬虔になります。さて、私がその女性と話しているとき、彼女の精神をつかむためだけに。さて、あなたがそうするならば、私はあなたが静まるのをちょっと待っています。動き回らないでください。今夜ここにはあらゆる種類の精神があり(分かりますか?)、動いています。病気、つまり。そして、なるほど、特に子供たち。子供たち、それは子供たちにとっても簡単にいきます。だからしないでください……

私が言ったように、てんかんが引っ張り始めます。そうです。それはそれです……これらが……私はあなたに言います、霊的なことを知るために、友達、言葉が霊的な態度とすべてをどのように変えるかを見てください、見てください。彼が私がそう言うのを聞いたのと同じように、てんかんが入り始めます。

82 さて、ちょっとお話ししたいと思います。あなたの人間の精神を見るためだけに。さて、もし神がそうするのなら……あなたは……あなたはクリスチャンの信者です。そして、もし神が取り除いてくれるなら……あるいは、引越してあなたが何のためにここにいるのか教えてくれれば、あなたは信じるでしょう。あなたは信じるのが神から来ていることを知っています。

まず第一に、あなたは食べることについて何か問題があります。それは胃の状態についてです。あなたは胃の問題を抱えています。それは胃の胃の状態です。それはあなたの口や物に物が入る原因になるから

です。それは胃の胃の状態です。

それからあなたは悪い腕を持っています。そして、それはあなたの左腕です。そして、それは自動車に押しつぶされました。それが真実です。あなたは今信じますか？ あなたは今信じますか？ ここに来て、姉妹。

天のお父様、あなたが今祝福して下さることを祈ります。彼女に彼女の心の欲望を与えなさい。イエス・キリストの名において、私はそれを尋ねます。アーメン。

83 信仰を持ち、心から信じてください。今、私たちはお互いに全く見知らぬ人です。

さて、これが井戸にいる主イエスの完璧な写真です。彼はユダヤ人で、彼女はサマリタンでした。今日と同じように、私は白人で、あなたは色のついた女性であるという人種的な状態です。しかし、それは...イエスは、それが神に何の違ってもたらさなかったことを彼らにすぐに知らせました。私たちは皆一人の人間から離れています。私たちは皆、神の子供です。しかし、ユダヤ人、異邦人、白、色、黄色、茶色のいずれであっても、それは問題ではありません。神は、一血で、御子イエス・キリストを通して、私たちすべての人を買ってくださいました。そしてその中で、私たちは兄弟姉妹になります。さて、私はあなたにとって見知らぬ人です、あなたは神があなたのために何かをしてくれると信じていますか...

84 さて、あなたは私があなたを知らないことを知っていますね、レディ？ 私たちは見知らぬ人です。しかし、あなたは神経質な状態に苦しんでいます。あなたは緊張していて、動揺しています。あなたは心の中にたくさんのおもちゃを持っています：悲しみ。あなたは皆、何かについて別れた。私はそれが暗くなり、暗くなるのを見ます。そこに誰かが立っているようですが、それは男です。そして彼は横に編んでいます。彼は家に帰ってきます。それはあなたの夫です。彼は酔っぱらいです。そして、あなたはここにいます...憐れみを持ってください、神様。大丈夫です。それは本当です、姉妹。近くに来てください。父よ、私はあなたがイエス・キリストの名において彼女の要求を認めて下さることを祈ります。アーメン。神はあなたを祝福します。

お姉さん、どうしますか？ どこでも敬虔になってほしい。動かないでください。さて、レディ、私たちはお互いに奇妙ですか？ 私たちはお互いを知りませんか？ 全く見知らぬ人。さて、神の子イエス・キリストは救うために死にました…。

85 あなたの側に何か問題がありますね、姉妹、そこに座って、目の前にいませんか？ あなたの側で問題が発生しました。あなたが愛する人のためにも祈っているので、数分前にその女性が愛する人について何かを言われたとき、本当に奇妙なことが起こりました：それは救われていない父親です。私は彼が立っているのを見ます、そしてあなたは彼のために祈っています。それは本当ですよ？ お嬢様、神はあなたを祝福します。

さて、そこにあなたは...彼ら2人...彼らは両方とも、てんかんに苦しんで、すぐその端に座っている人々です。そうです。あなた、悪魔、イエス・キリストの名において、あなたは彼らを去り、彼らから出てきます。

あなたは今、心から信じていますか？ あなたは神の御子イエス・キリストがあなたを元気にするためにここにいと信じていますか？ 私はあなたがそうすると信じています。あなたはたった今、あなたは何かの前にいることに気づきましたね、姉妹？ それは彼の存在です。この存在下に立つのは素晴らしい気分ではありませんか？

86 さて、それが正しければ、聴衆に見えるように、手を挙げてください。注ぐような愛のその素晴らしい慰め...あなたはあなたの肺の問題、肺の問題に苦しんでいます。何かあったようですが...肋骨を動かしたり何か、何らかの肋骨のトラブルがありましたか？ それはあなたの下にあります...肋骨は動きます、はい。私は彼らがあなたを連れて行っているのを見ます...または肋骨に何かをしています。

そして、あなたは背骨の曲がりを得ました。そして、それは胃の問題を抱えています、それはそれが押し倒されたので、彼らは言いました、そして胃が間違った状態で押されました。そして、あなたは背中が痛いのです。それが真実です。イエスがあなたを癒すためにここにいと信じますか？ そして、それが彼が語っているのであれば、それは私ではありません。

さあ、あなたに手を差し伸べさせてください。神は、主イエス・キリストの名において、私たちの姉妹と彼女が求めるすべてを元気にしてください。イエスの名において。アーメン。信仰を持ちなさい。疑わないでください。

87 さて、姉妹、肝臓の問題でそこに座って、すぐそこに座って、あなたはその時祈っていました。あなたは、「神様、彼に私に話させてください。そうすれば私はあなたを信じます」と言いました。それはまさにあなたが言ったことではありませんか？ それが正しくない場合は手を挙げてください。さあ、立ち上がってください。肝臓の問題はあなたに残しました、姉妹。

どうですか、先生。信じますか？ 私たちはお互いに見知らぬ人です、兄弟。しかし、イエス・キリストは私たちの両方を知っています。神があなたが何のためにここにいるのかを正確に教えてくれるなら、あなたはイエスを通してあなたが来たものを受け入れますか？ あなたはそうしますか？ 死の影があなたにかかっています。そして、それはあなたの胃の原因です。そして、それは胃の癌です。あなたは今、イエス・キリストがあなたを元気にするだろうと信じていますか？ あなたは彼の流された血に基づいて今それを受け入れますか？ その後、食べに行きます。イエス・キリストの名において、悪魔が私の兄弟を去りますように。アーメン。

88 信仰を持ちなさい。疑わないでください。イエスは、「もしあなたが信じることができたら……」と言われました。そうです、小さな仲間。アーメン。

その端に座っているそのインド人女性は、ちょうどその時頭を下げて祈っていました、彼女は髪に櫛を持っています。主の天使、その光が女性の上にぶら下がっています。彼女は干し草の熱に苦しんでいます。そうです、インドの女性。イエス・キリストはあなたを完全にします。

あなたの隣に座っているあなたの友人、そこにいる他のインド人女性、彼女は頭の問題で苦しんでいるとしましょう。彼女にもあなたの手を置いてください、彼女も元気になるように。そこで手を挙げてください、神の御子イエス・キリストを通してあなたの癒しを受けてください。アーメン。そこに行きます：癒されました。暗黒の筋が去り、出て行く。何か白いものがそれを押し込んでいます。終わりました。信仰を持ちなさい。

89 これは患者ですか？ お嬢様、私を神の僕として心から信じますか？ 私はあなたを知りません、あなたに会ったことはありません。しかし、私がイエス・キリストを通してあなたの霊に接触したので、あなたの人生、あなたは今隠れることができませんでした。あなたは価値のあるもののためにここにいます。あなたは不毛で子供が欲しい女性です。あなたは私があなたに私の手を置いて欲しいのです、あなたは子供を受け取るでしょう。天のお父様、この女性に心の願いを与えてください。私はあなたのしもべとして、あなたの息子、主イエスの名において彼女を祝福します。アーメン。信仰を持ちなさい。疑わないでください。

すぐ後ろに座って、その関節炎を乗り越えたいですか？ 立ち上がる；姉妹よ、あなたの信仰があなたを癒しました。そうです、立ち上がって、手を空中に押し上げ、あなたが癒されたことを人々に見てもらいましょう。絶対に、あなたは今それから自由です。アーメン。あなたの信仰はあなたを完全にします。アーメン。神を信じなさい。疑わないでください。

90 ここに来なさい、レディ。信じますか？ 私はあなたにとって見知らぬ人です。私たちはお互いを知りませんが、イエス・キリストは私たちの両方を知っています。精霊たちは助けを求めています。ちょっと待ってください、レディ。私たちがお互いに見知らぬ人であり、決してお互いに会うことはありません。もし私が...聖霊がむしろ私を通してあなたの問題が何であるかを教えてくれるなら、あなたはそれを信じますか？ そして、あなたはそれが神から来ていると信じますか？

聴衆はそれが神から来ていると信じますか？ さて、「もちろん、私はあなたにもっと話したいと思います、それはもっと言うでしょうが、まさにそう言っています。あなたの腕の周りに何かが見えます。それは高血圧です、あなたは持っています。そしてまた、あなたは窒息する精神を持っています。それはあなたの喉のゴイター、窒息、内向きのゴイターです。それが真実です。あなたはこの国の出身ではありません。あなたは東の道から来ました。あなたはテネシー州のグランドビューから来ました。そうです。それはあなたにショックを与えますか？ あなたの名前もミスリリーエドワーズです。そうです。さあ、家に帰って、主イエス・キリストの御名によって元気になりましょう。信仰を持ちなさい。

91 どうですか？ 私の友人であるあなたに最初に言うことは、神とのあなたの人生です。あなたはそうではありません...あなたはあなたが歩いている方法を自分で喜ばせていません。あなたは主ともう少し近くを歩きたいのです。そうです。私はあなたが祈りの中で彼に尋ねるのを見ます。それから私はあなたが成長しているのを見ます。そして成長は成長しています。そして、成長は胃の中にあります。それは本当ではないですか？

あなたは神ともっと近くを歩きたいですか？ あなたは癒されたいですか？ そして、あなたに話しているのはあなたの兄弟ではなく、主イエス・キリストがあなたにそれを与えると信じてください。あなたはそれをし

ますか？ それから、神の御子イエス・キリストの名において、あなたが求めるものを受け取りなさい。アーメン。

92 あなたは王国の近くにいます、姉妹。

レディ...これは女性、これは患者ですか？ 私たちはお互いに見知らぬ人だと思います。私はあなたを知りませんが、神はあなたを知っています。あなたは信者です。あなたは自分のためにここに立っているではありません。あなたは友達のために立っています。そして、あなたはその友人からある種のメッセージを受け取ったところです。そして、彼らは癌のために朝に手術を受ける予定です。そして、それは大きな湖か何かの近く、イリノイ州シカゴの近くです。そうです。神は、主イエスの御名によって、イエスの御名によって、彼女が求めるものすべてに癒しを与えてくださいます。

主イエスは、何でも癒すことができるのと同じように、心臓の問題を癒すことができます。あなたはそれを信じますか？ あなたは今それを手に入ると信じていますか？ イエスの御名によって、行ってそれを受け取りなさい。アーメン。

93 さあ、レディ。あなたは心から信じますか？ 少し急がなければなりませんでした。ただ...いいえ、ただ私を抱きしめてください。ちょっとこのようにもう一度見てください。信じますか？ 夕食を食べに行きたいですか？ その胃の問題はあなたを悩ませてきました、すべてが動揺し、窮屈で、傷つき、あなたを二重に引き寄せ、女性の問題です。あなたの道に行きなさい、イエス・キリストはあなたを元気にします。

信じますか？ あなたは神がこの貧血状態を癒してくれると信じていますか？ あなたは家に帰ることができるかと信じています、この貧血の状態で元気になるますか？ 神はあなたを祝福します。行って、あなたが求めたものをイエスの御名によって受け取ってください。

大丈夫、来て、レディ。あなたが来たときにリンピングをしているのを見てください。意味...いいえ、そうではありません、あなたは壊れた腰を持っていません。あなたを悩ませているのは関節炎です。あなたはイエス・キリストがあなたを元気にするだろうと信じていますか？ 行って、イエスの御名によって元気になるてください。

94 来てくれませんか、レディ？ 信じますか？ あなたはその背中トラブル、腎臓のトラブルを乗り越えたいですか？ あなたはイエスがあなたを元気にすると信じていますか？ それから行ってください、そうすればイエス・キリストがあなたを癒し、あなたを完全に元気にします。アーメン。

今夜、あなたがすぐそこに座っていたとき、あなたの関節炎は治りました。あなたは[不明確な言葉]を通過しました。さて、あなたが今夜私を見てそこに座っていたとき、すぐそこに。本当にクールなことがあなたの胃に行きました。その時潰瘍は去りました。あなたは癒されました。

どうしますか？ 心臓のトラブルはなくなりました、兄弟。行って、神を喜んで賛美しなさい。心から信じてください。

目と胃、しかしイエス・キリストはあなたを元気にしてくれます。信仰を持ちなさい。

ちょっと待って。恐れるな。あなたの腎臓の問題とすべてがあなたからなくなった、レディ。信じて行きなさい。

胃のトラブル、何でも、神はそれをすべて癒すことができますね？ あなたを元気にし、あなたを完全に癒してください。主イエス・キリストの御名によって、兄弟のために祈ります。アーメン。

そんなに...見て、それはどこにでもあります。ほら、それはどこでもヒットしているだけです。

95 あなたは心臓の問題を抱えています、レディ。心臓に問題のある方は、ちょっと立ち上がってください。私があるに言ったことがわかりますか？ どのように見分けるつもりですか？ それはどこにでも来ています。ここにちょっと立ってください。今、心から信じてください。ここに立ってください。ちょっと立ったままです。

ここを見てください、レディ。あなたは結核を得ました。TBをお持ちの方は、ちょっと立ち上がってください。本当に迅速な結核のケースにジャンプアップします。忠実であること。心から信じてください。肺、肺、それは動き続けます。大丈夫です、先生。とにかく立ち上がる。結核はありませんが、肺に肺炎があります。そうです、そこに立っています。そうです、あなた。じっと立ってください。

ここに横たわっているこの男性は、このストレッチャーで肺に肺炎を患っています。立ち上がってください、イエス・キリストはあなたを元気にしてくれます。残りの皆さんはちょっと立ち上がってください。起きなさい。神よ、神の御子イエス・キリストの名において、私はこれらの病気で苦しんでいる人々をあなたのところに連れて行きます。私は人々を縛っているすべての悪魔、結核、すべて、これらすべての不自由な、病気の、苦しんでいる、神を、イエスの名において、それを取り除いて叱責します。サタン、彼らから信者の体から出てきなさい。どこでも立ち上がって、元気になってください。



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおりに、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7